

# 男女共同参画推進市民意識調査報告

## ○ 実施概要

対象：18歳以上80歳未満の市民を対象に、性別、年代ごとに住民基本台帳登録者数の2%を無作為抽出

対象者数：1,626人

回答方法：郵送またはWEBフォームによる回答

実施期間：令和4年2月25日～3月18日

回答者数：615人

回答率：37.8%

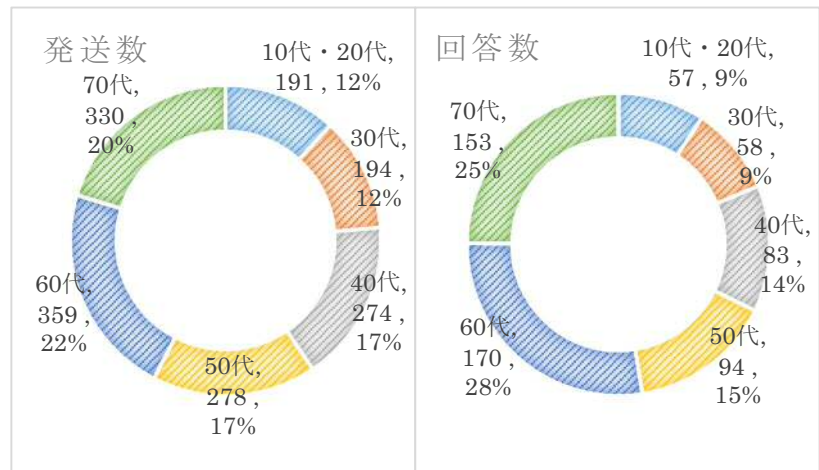
※1 各項目で使用した全国の数値は、内閣府男女共同参画局が令和元年9月に実施した、「男女共同参画に関する世論調査」を参照した。

※2 各設問における回答割合の計は、端数処理又は複数回答の影響で100%にならないことがある。

## ○ 対象者数、回答数、回答率

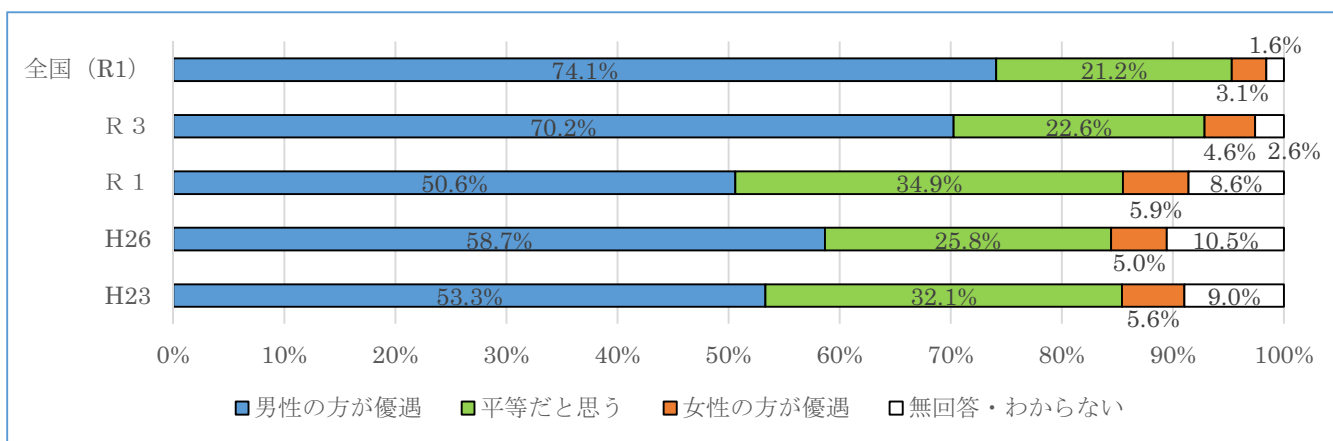
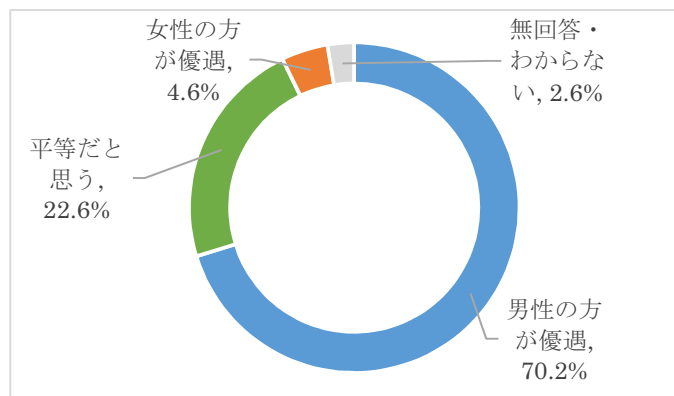
年齢区分	対象者数			回答数				回答率		
	男	女	合計	男	女	その他	合計	全体	(参考)男	(参考)女
18-19	18	18	36	5	10		15	41.7%	27.8%	55.6%
20代	83	72	155	16	25	1	42	27.1%	19.3%	34.7%
30代	103	91	194	28	29	1	58	29.9%	27.2%	31.9%
40代	142	132	274	37	46		83	30.3%	26.1%	34.8%
50代	141	137	278	43	51		94	33.8%	30.5%	37.2%
60代	182	177	359	81	89		170	47.4%	44.5%	50.3%
70代	159	171	330	74	79		153	46.4%	46.5%	46.2%
全体	828	798	1,626	284	329	2	615	37.8%	34.3%	41.2%

- 回答率は、各年代で概ね女性の方が高く、また、年代が上がるにつれて上昇しています。
- 特に20代男性の回答率が他の区分に比べて低調でした。
- 回答者数は、60代と70代が、全体の52.5%を占めています。

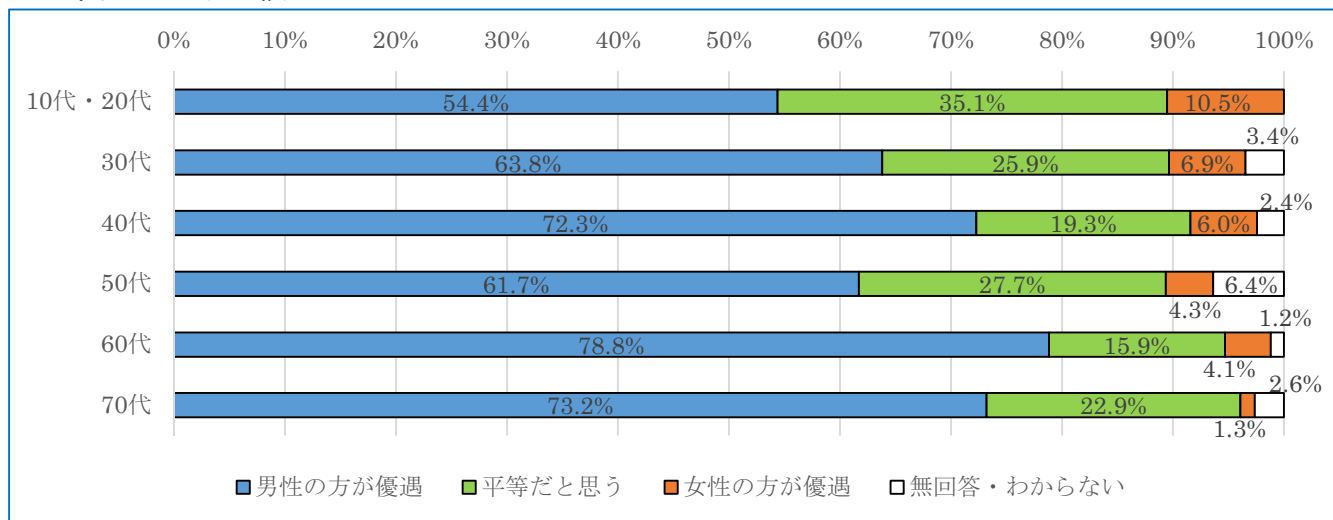


**設問 1** あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つ選択)

	総計	割合
男性の方が優遇されている	432	70.2%
平等だと思う	139	22.6%
女性の方が優遇されている	28	4.6%
無回答・わからない	16	2.6%
全体	615	100%



○ 年代による比較

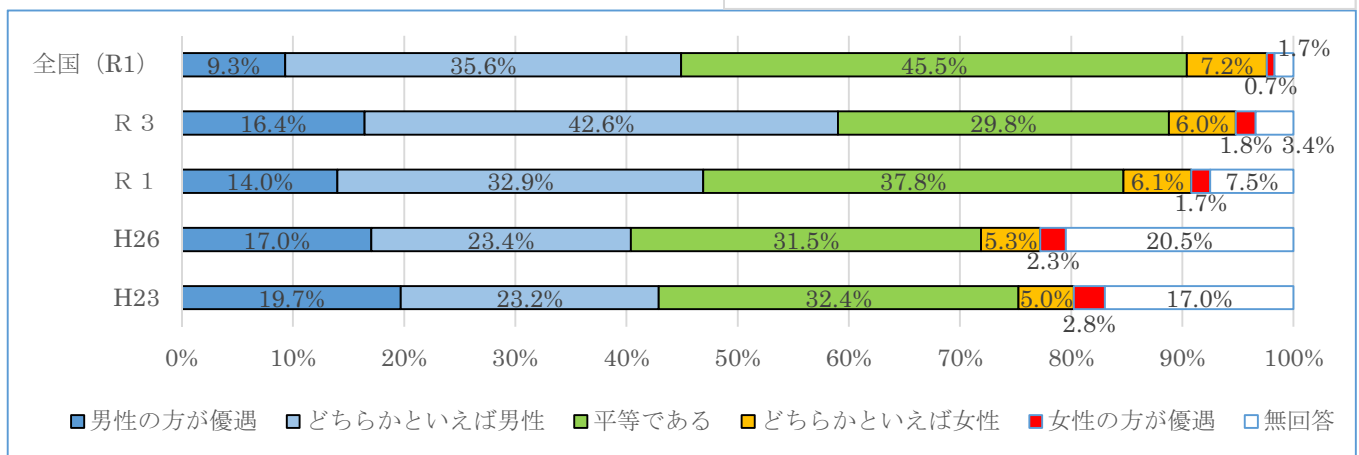
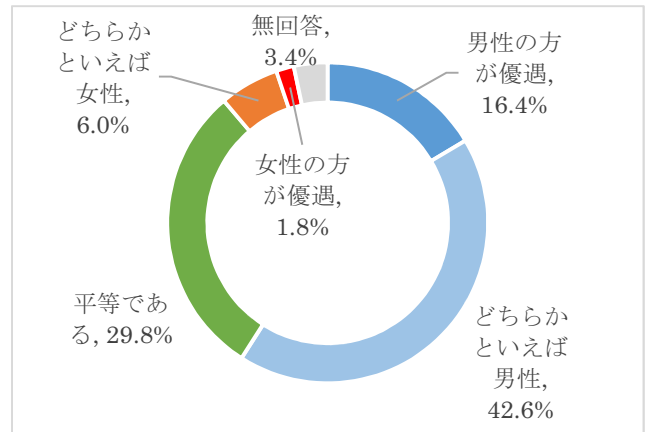


- 全体では、「平等だと思う」の割合が22.6%と令和元年度に実施した前回調査（以下、「前回調査」という。）から12.3ポイント減少していますが、60歳以上の回答が全体の回答に占める割合が、前回調査時は28.4%であったのに対し、今回調査では52.5%となっていることが要因のひとつであると考えられます。
- 年代別で比較すると、10代・20代では、「平等だと思う」の割合が35.1%、60代では15.9%と、比較して19.2ポイントもの差が生じています。
- 40代で「平等だと思う」の割合が19.3%と、他の年代と比較して低い結果となっています。

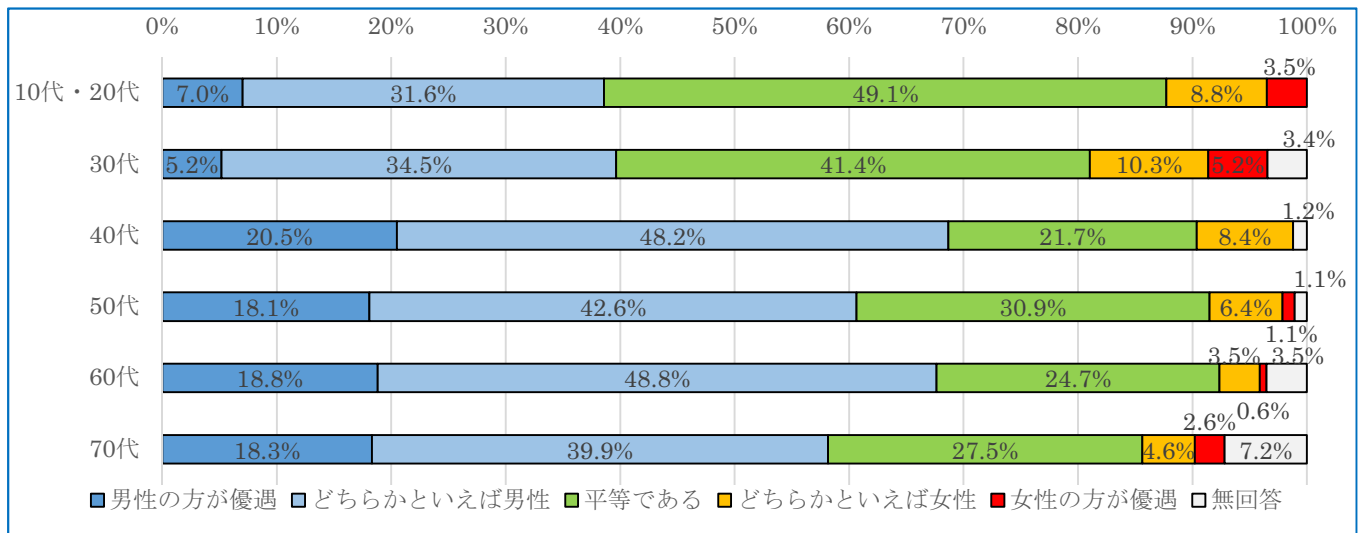
**設問 2** 次にあげる各場面において、あなたの身の回りでは男女平等になっていると思いますか。  
(1つ選択)

① 家庭生活

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	101	16.4%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	262	42.6%
平等である	183	29.8%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	37	6.0%
女性の方が優遇されている	11	1.8%
無回答・わからない	21	3.4%
合計	615	100%



○ 年代による比較

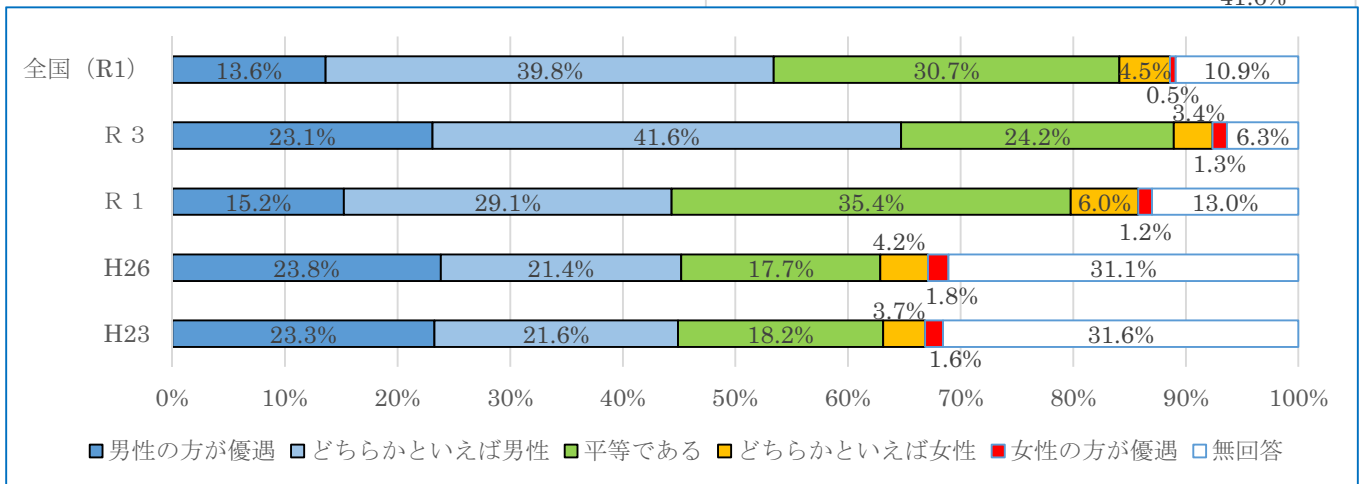
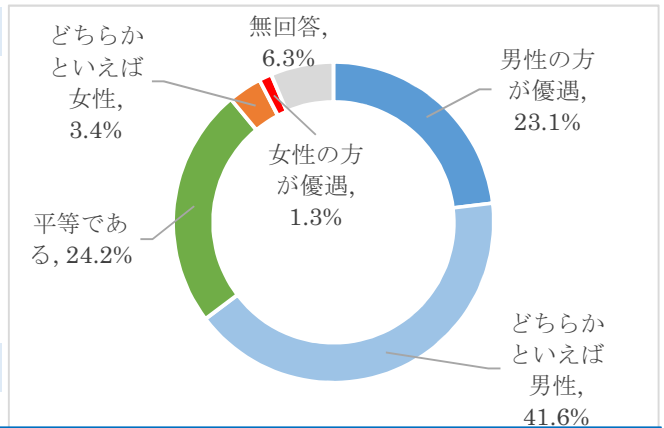


- 全体では、「平等である」の割合が29.8%と、全国調査の45.5%、前回調査の37.8%を大きく下回っています。
- 年代別では、10代～30代では、「平等である」の割合が一番高く、それぞれ、49.1%、41.4%となっていますが、40代以上では、「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高く、39.9%～48.8%となっています。

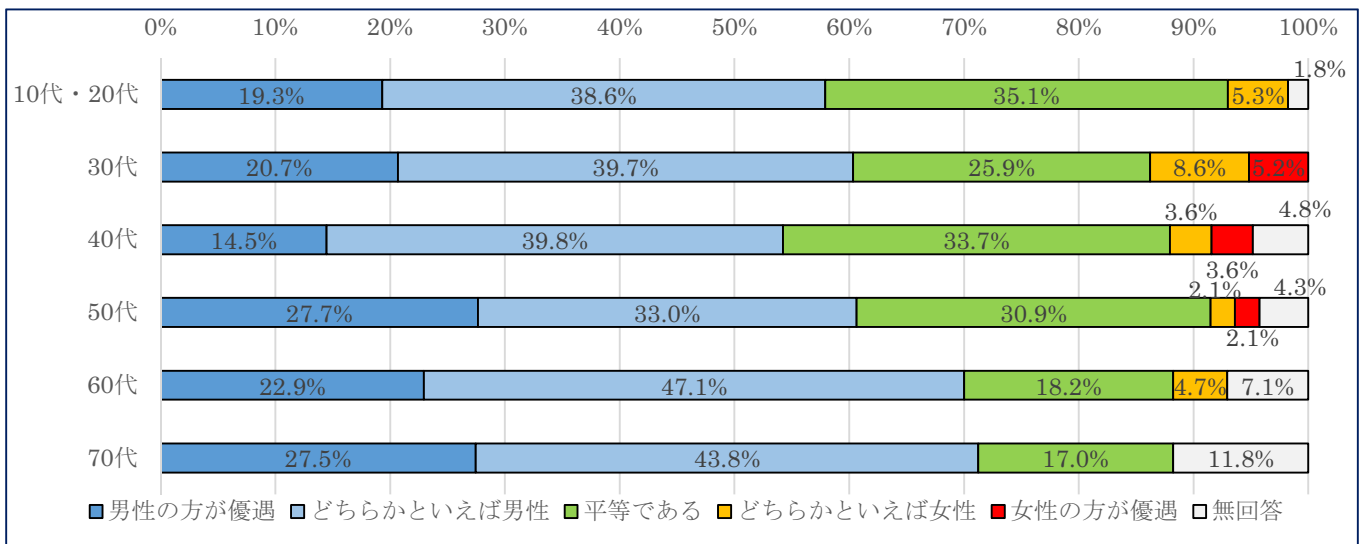
## 設問 2

### ② 職場

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	142	23.1%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	256	41.6%
平等である	149	24.2%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	21	3.4%
女性の方が優遇されている	8	1.3%
無回答	39	6.3%
合計	615	100%



### ○ 年代による比較

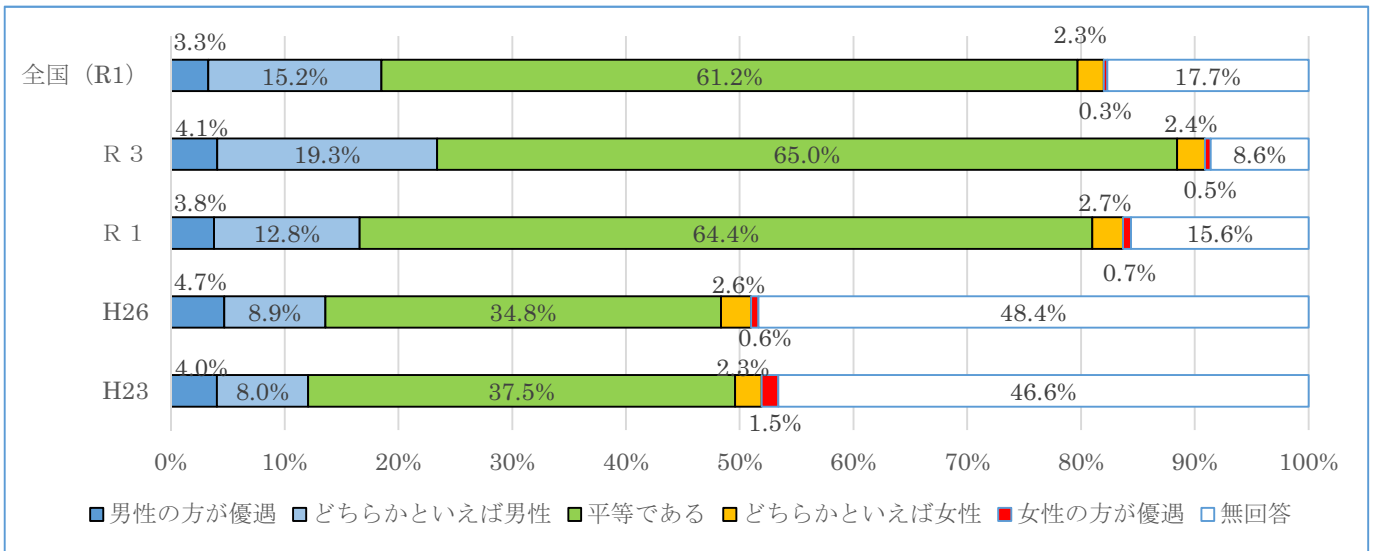
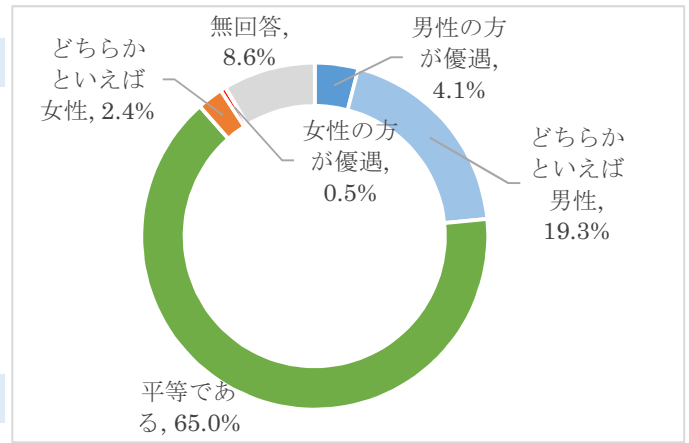


- 全体では、「平等である」の割合が 24.2%と前回調査から 11.2 ポイント減少し、全国調査の 30.7%を下回っています。
- 年代別では、「平等である」の割合が 10 代・20 代で 35.1%と最も高く、最も低い 70 代 17.0%の倍以上となっています。
- 家庭生活の項目で「平等である」の割合が最も低かった 40 代は、職場においては 33.7%と、10 代・20 代に次ぐ結果となっています。

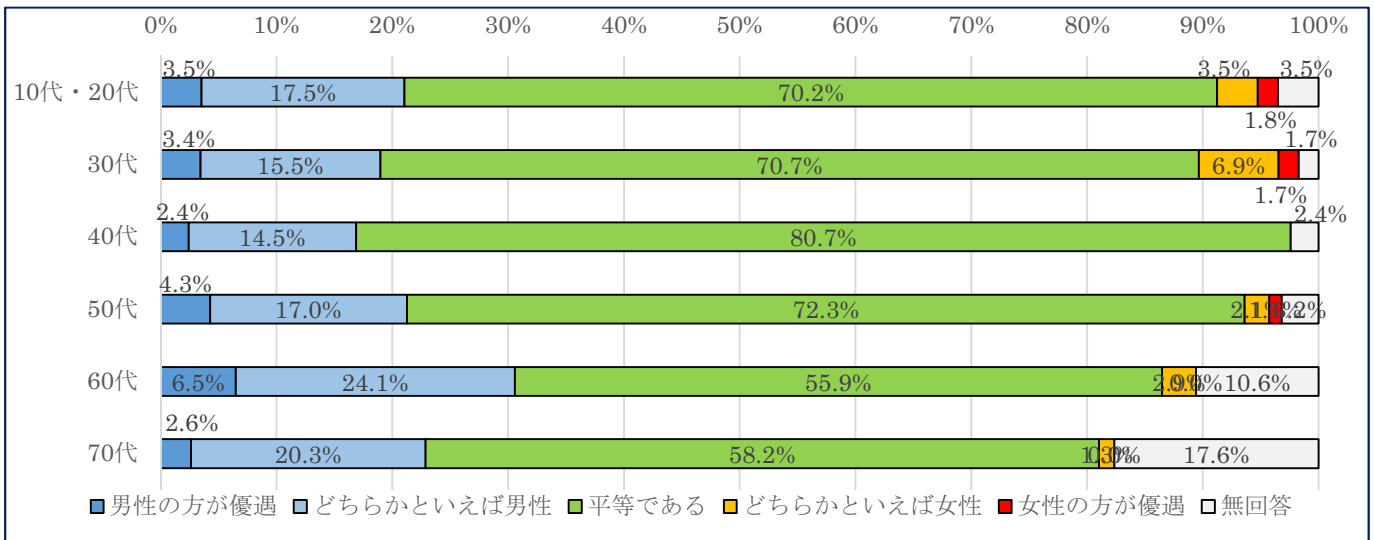
## 設問 2

### ③ 学校教育の場

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	25	4.1%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	119	19.3%
平等である	400	65.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	15	2.4%
女性の方が優遇されている	3	0.5%
無回答	53	8.6%
合計	615	100%



### ○ 年代による比較



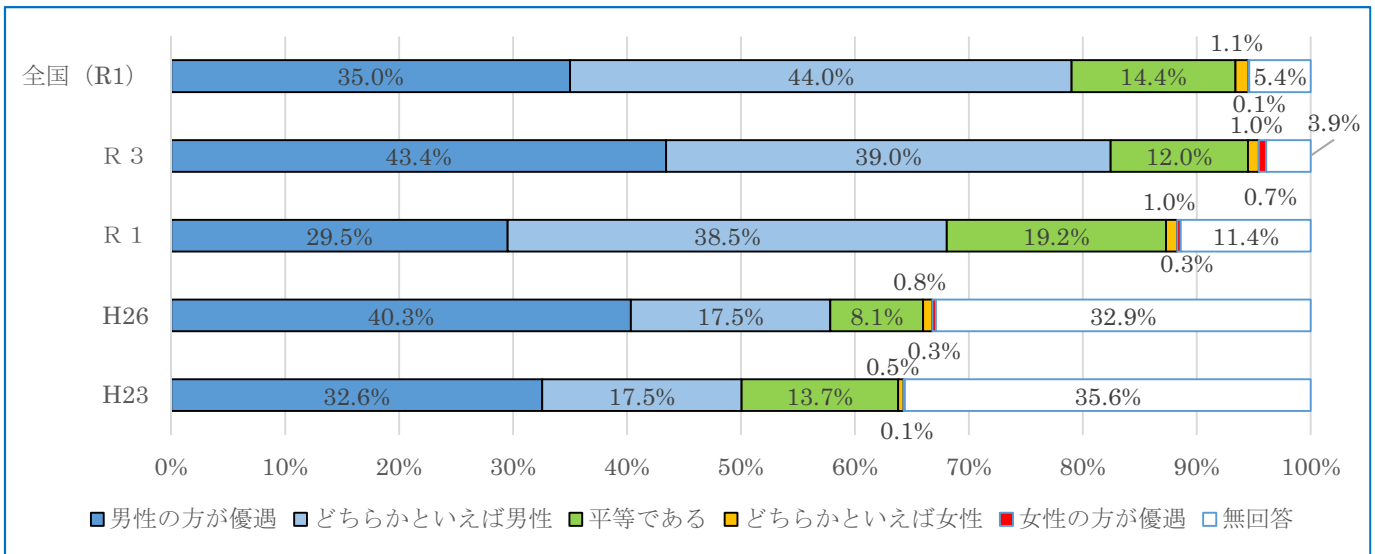
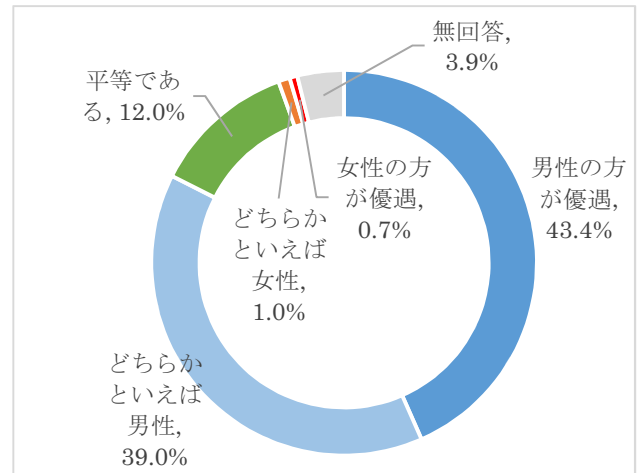
○ 全体では、「平等である」の割合が65.0%と、全国調査の値を4.8ポイント上回り、前回調査からも微増となっています。

○ 年代別に見ても、全年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。

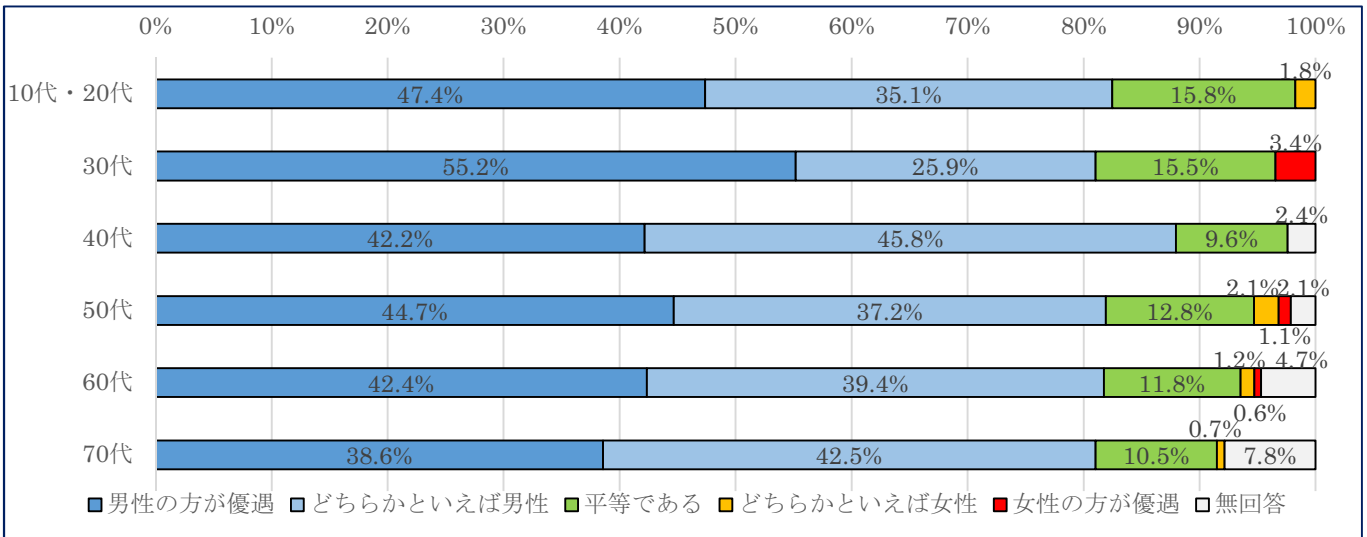
## 設問 2

### ④ 政治の場

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	267	43.4%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	240	39.0%
平等である	74	12.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	6	1.0%
女性の方が優遇されている	4	0.7%
無回答	24	3.9%
合計	615	100%



### ○ 年代による比較



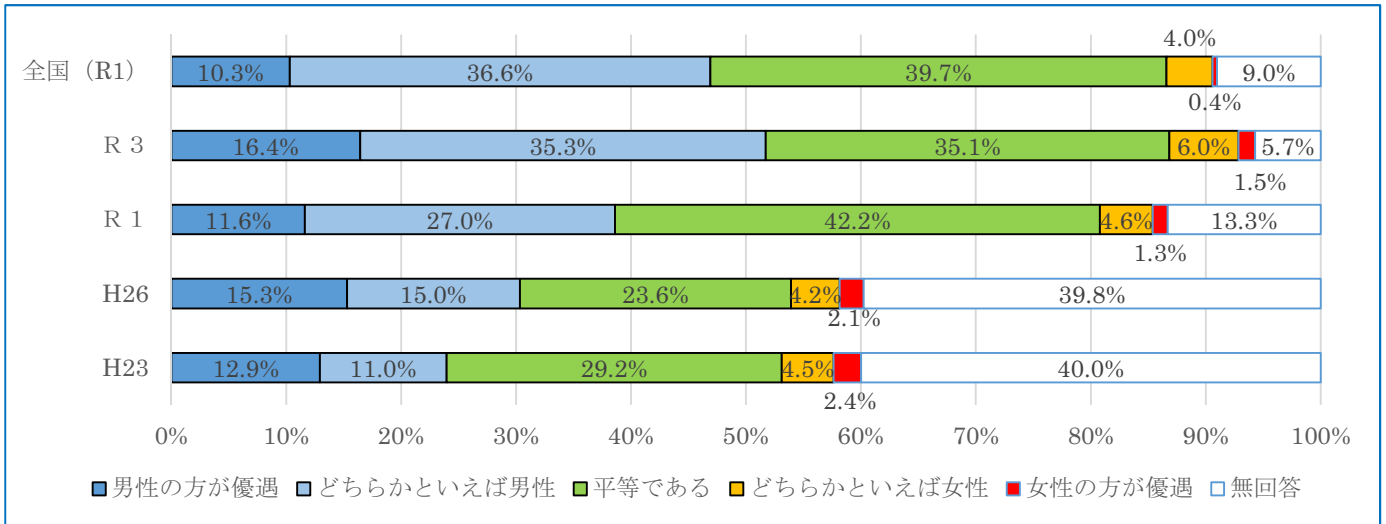
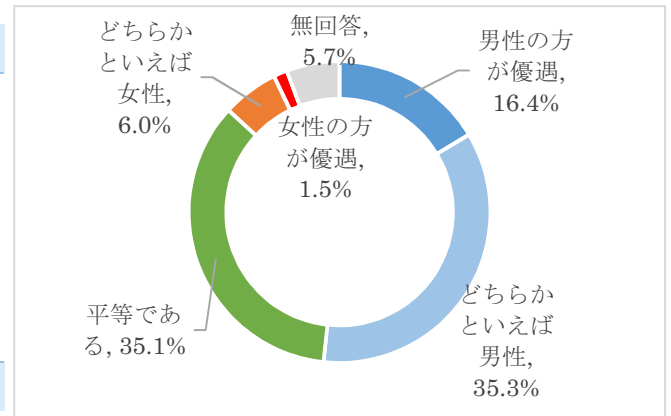
○ 全体では、「男性の方が優遇されている」の割合が43.4%と最も高く、「平等である」の割合は12.0%で前回調査から7.2ポイント減少しました。

○ 年代別に見ても、全年代において「男性の方が優遇されている」または「どちらかという男性の方が優遇されている」の割合が、合わせて8割を超えています。

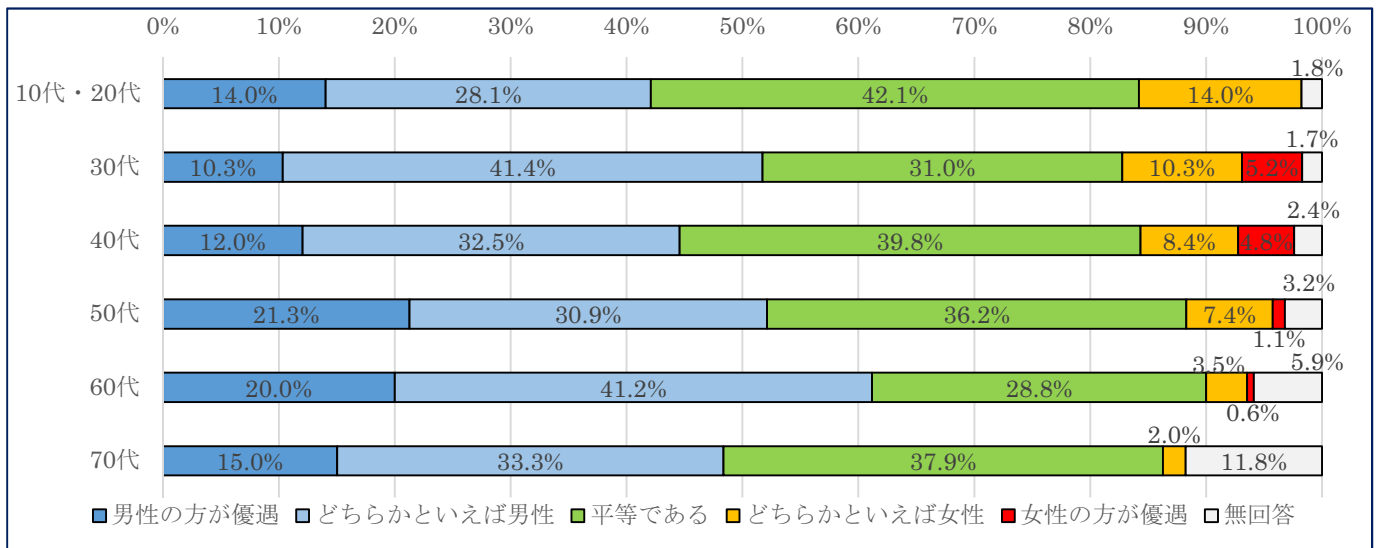
## 設問 2

### ⑤ 法律や制度上

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	101	16.4%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	217	35.3%
平等である	216	35.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	37	6.0%
女性の方が優遇されている	9	1.5%
無回答	35	5.7%
合計	615	100%



### ○ 年代による比較

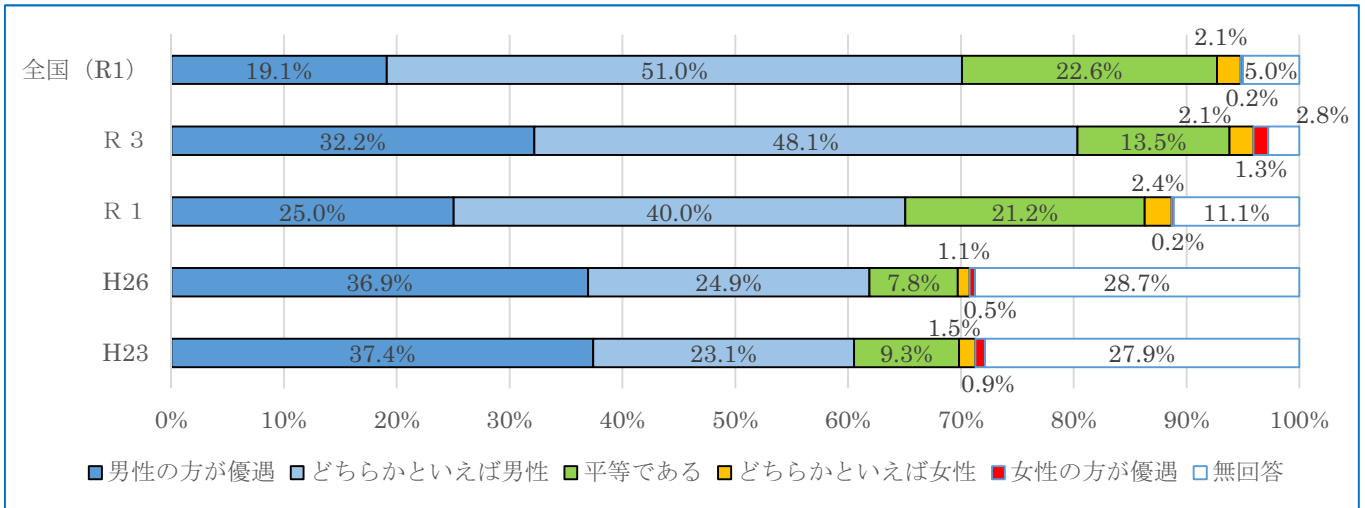
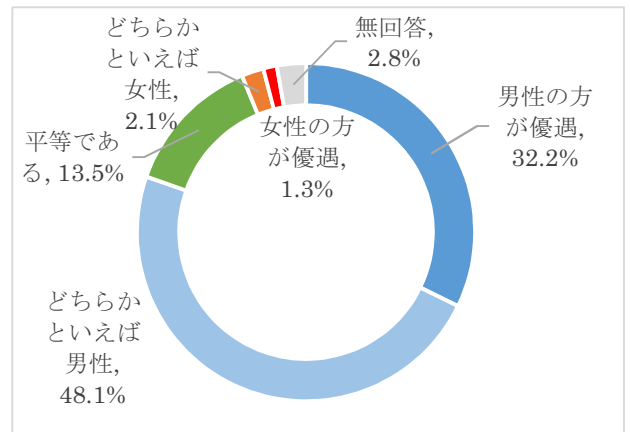


- 全体では、「平等である」の割合が 35.1%と前回調査から 7.1 ポイント減少し、「男性の方が優遇されている」及び「どちらかというとも男性の方が優遇されている」の割合が、5割を超えています。
- 年代別では、「平等である」の割合が、最も高い 10代・20代で 42.1%、最も低い 60代で 28.8%と 13.3 ポイントの開きがあります。

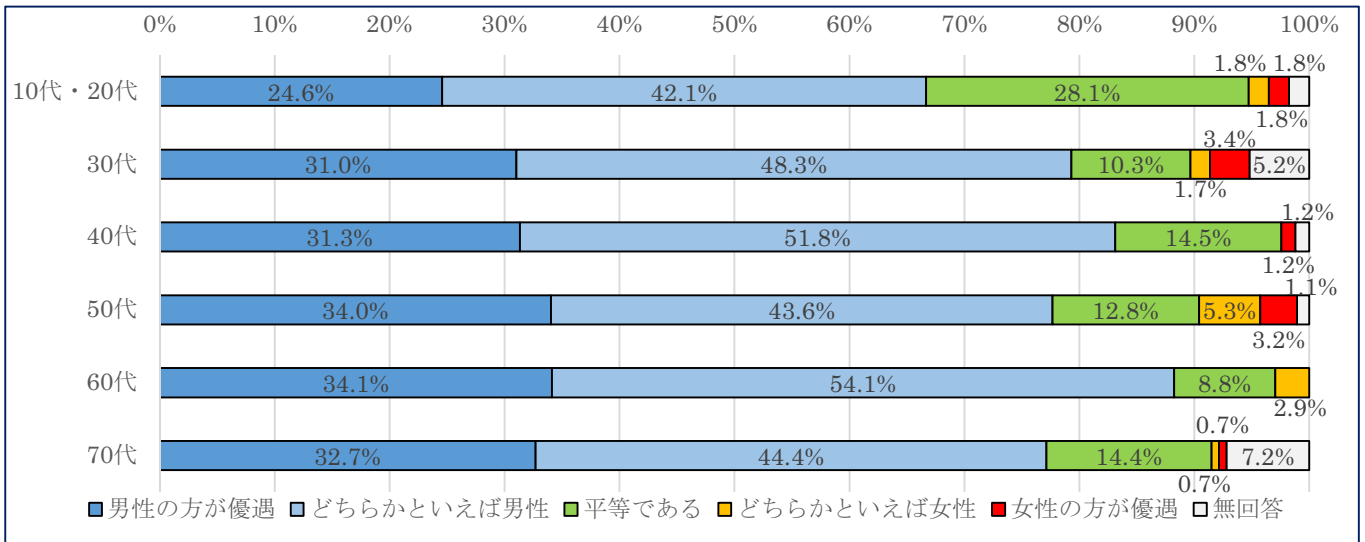
## 設問 2

### ⑥ 社会通念、習慣、しきたり

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	198	32.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	296	48.1%
平等である	83	13.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	13	2.1%
女性の方が優遇されている	8	1.3%
無回答	17	2.8%
合計	615	100%



### ○ 年代による比較



○ 全体では、「平等である」の割合が 13.5%と前回調査から 7.7 ポイント減少し、「男性の方が優遇されている」及び「どちらかというとも男性の方が優遇されている」の割合の合計は 8 割を超えています。

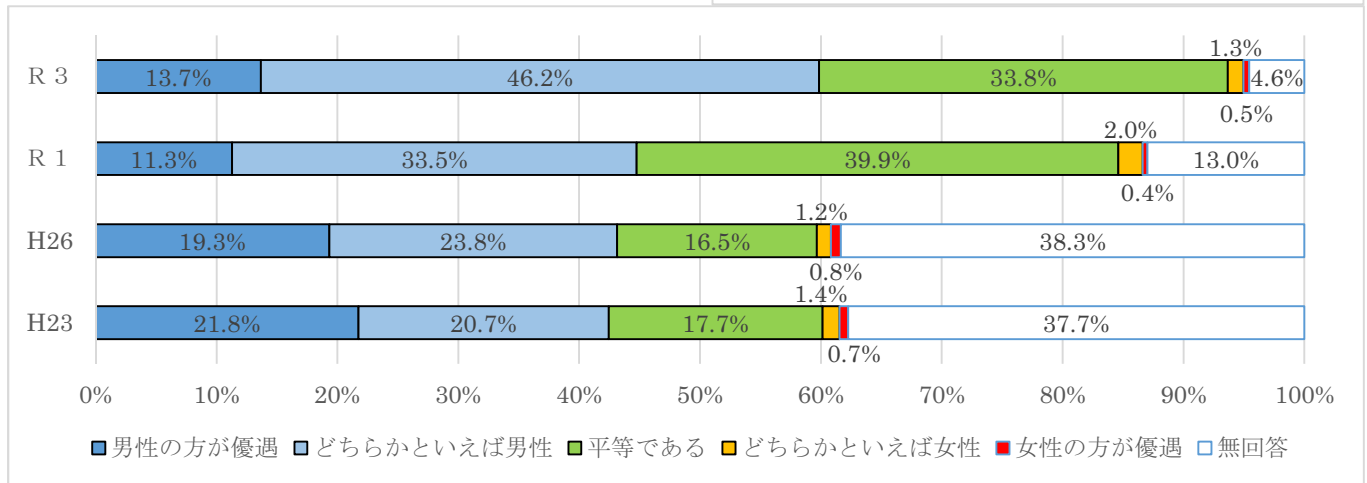
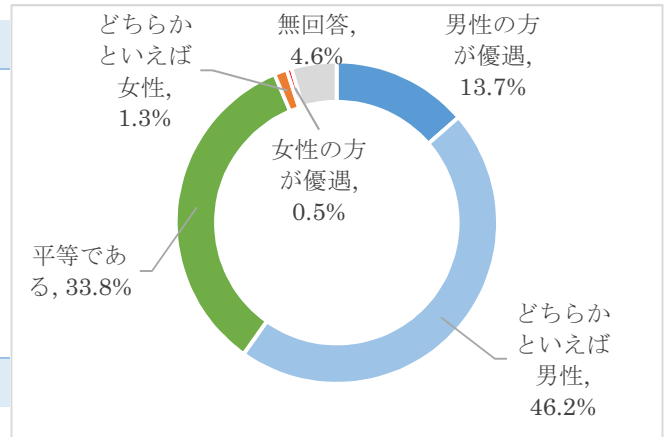
○ 年代別では、「平等である」の割合が、最も高い 10 代・20 代で 28.1%、最も低い 60 代で 8.8%と 19.3 ポイントの開きがあります。



## 設問 2

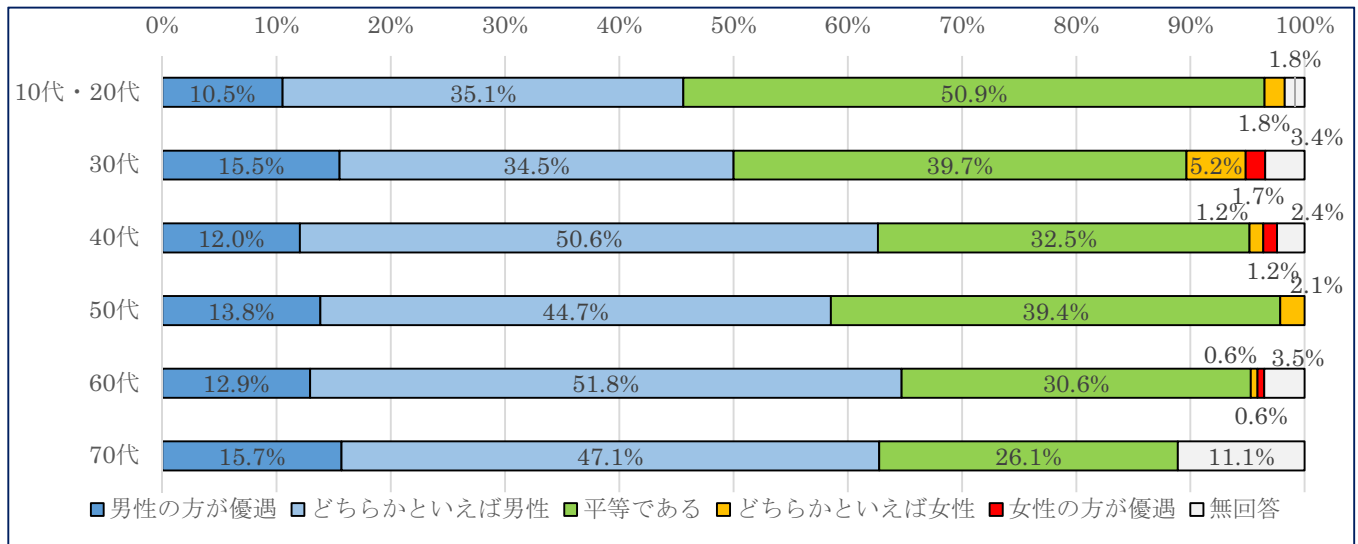
### ⑦ 就職

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	84	13.7%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	284	46.2%
平等である	208	33.8%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	1.3%
女性の方が優遇されている	3	0.5%
無回答	28	4.5%
合計	615	100%



※ 全国値データなし

### ⑧ 年代による比較

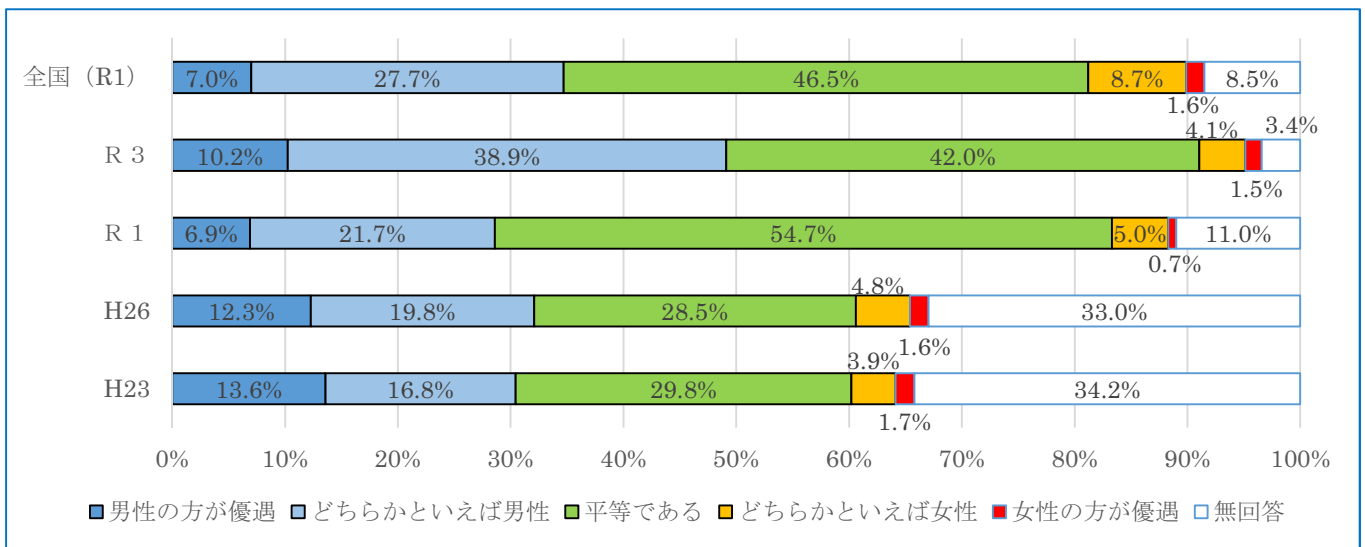
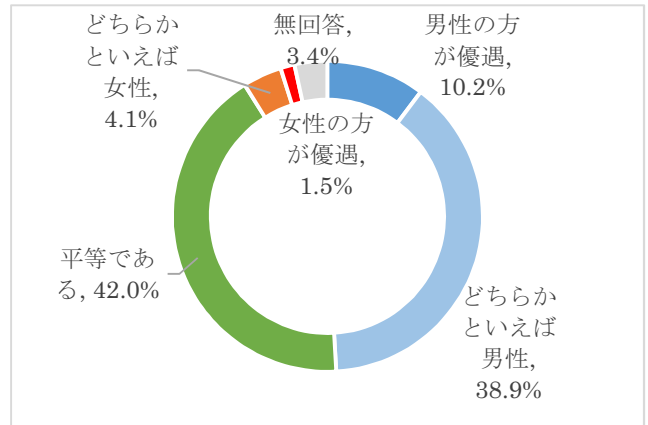


- 全体では、「平等である」の割合が 33.8%で、前回調査から 6.1 ポイント減少しています。
- 年代別では、「平等である」の割合は、10代・20代が 50.9%で最大、70代が 26.1%で最小となっており、10代・20代が 70代の約 2 倍となっています。

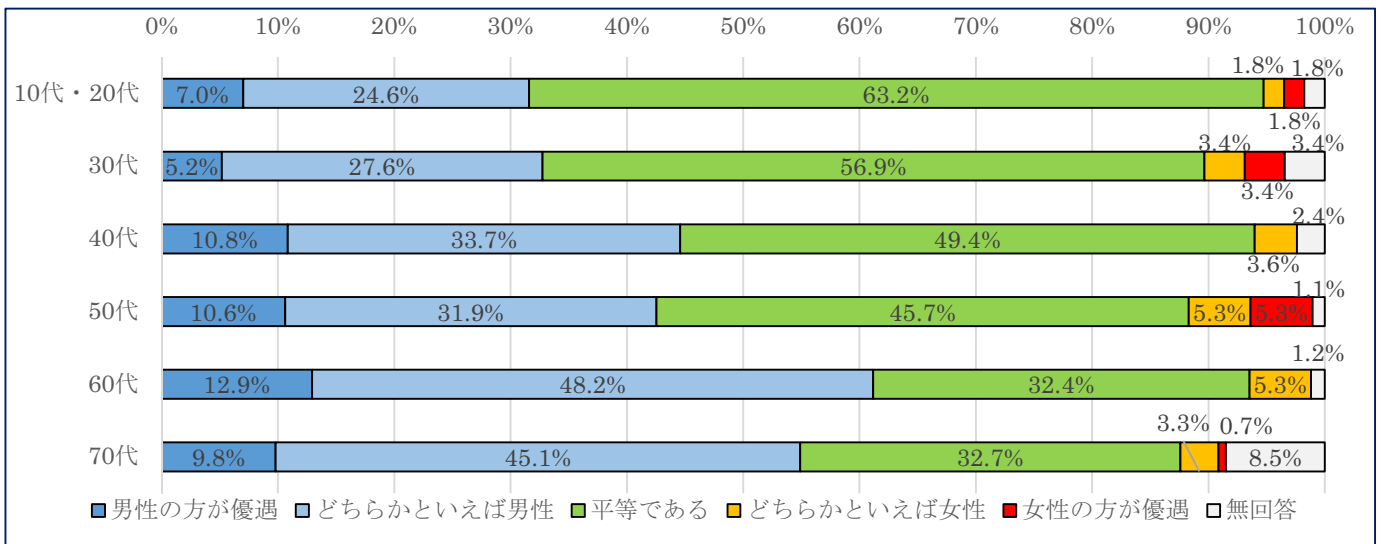
## 設問 2

### ⑧ 地域活動

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	63	10.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	239	38.9%
平等である	258	42.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	25	4.1%
女性の方が優遇されている	9	1.5%
無回答	21	3.4%
合計	615	100%



### ○ 年代による比較

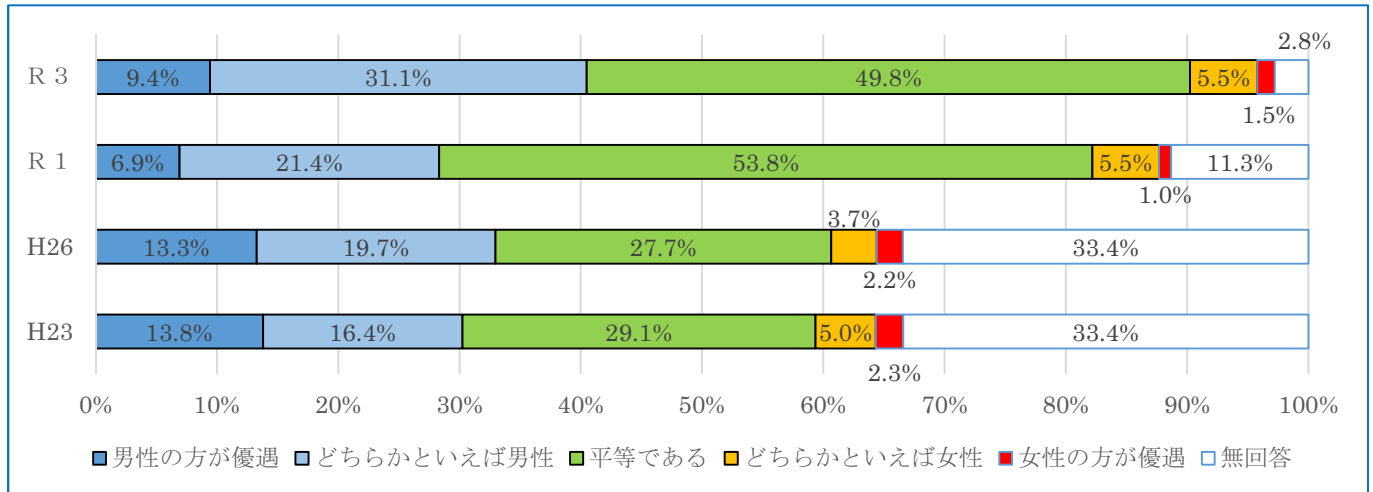
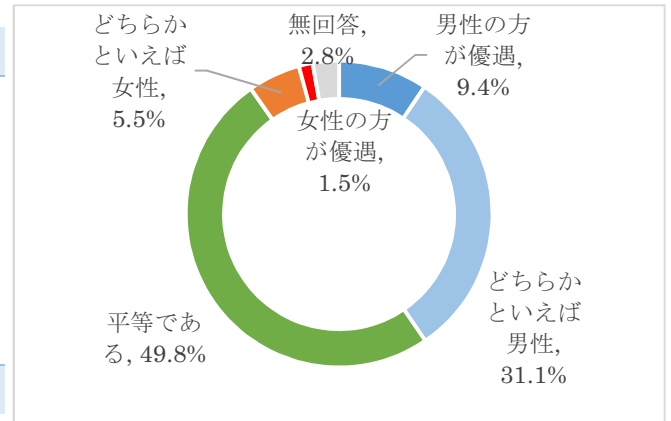


- 全体では、「平等である」の割合が一番大きく 42.0%ですが、前回調査からは 12.7 ポイント減少しています。
- 年代別では、「平等である」の割合は、10代・20代で最大となり 63.2%、年代が上がるにつれて割合が減少し、60代で 32.4%、70代で 32.7%と、10代・20代の約 2分の1 となっています。

## 設問 2

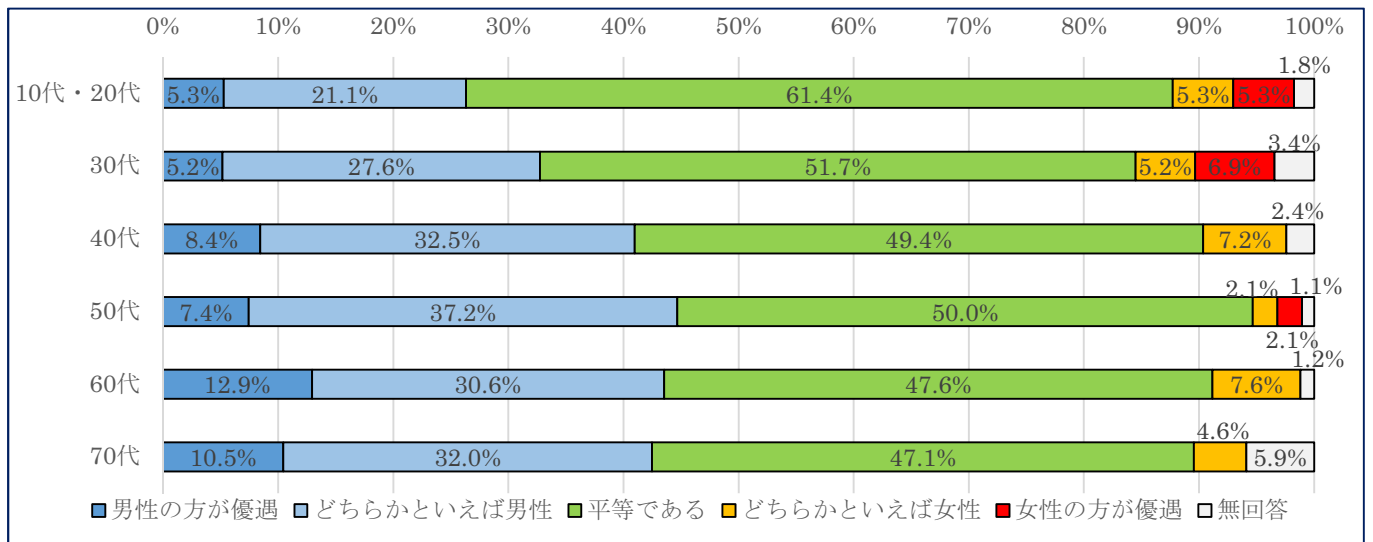
### ⑨ 言語や会話

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	58	9.4%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	191	31.1%
平等である	306	49.8%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	34	5.5%
女性の方が優遇されている	9	1.5%
無回答	17	2.8%
合計	615	100%



※ 全国値データなし

### ○ 年代による比較



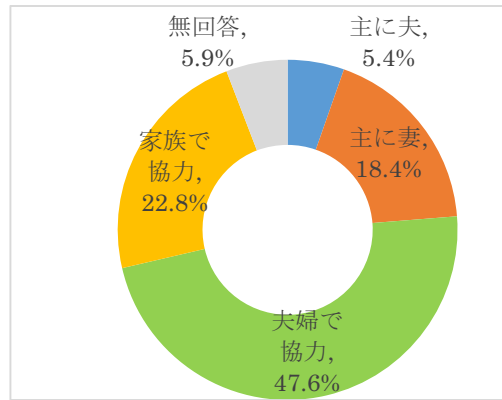
○ 全体では、「平等である」の割合が49.8%で最も高くなっていますが、前回調査からは4.0ポイント減少しています。

○ 年代別では、「平等である」の割合が、10代・20代が最大で61.4%となっており、年代が上がるにつれて割合が減少し、70代では最小の47.1%となっています。

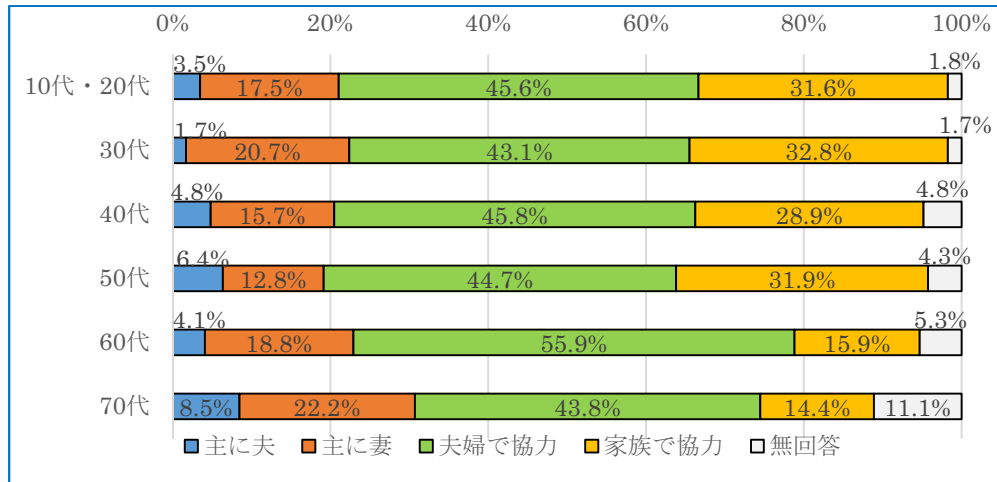
**設問 3** 家庭での役割分担の理想についてうかがいます。次の項目の家事などの分担はどのような形が望ましいと思いますか。(1つ選択)

① 家計全体のやりくり

項目	回答数
主に夫	33
主に妻	113
夫婦で協力し合う	293
家族で協力し合う	140
無回答	36
合計	615



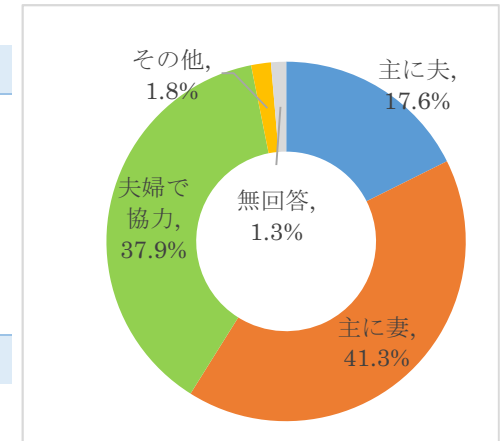
○ 年代による比較



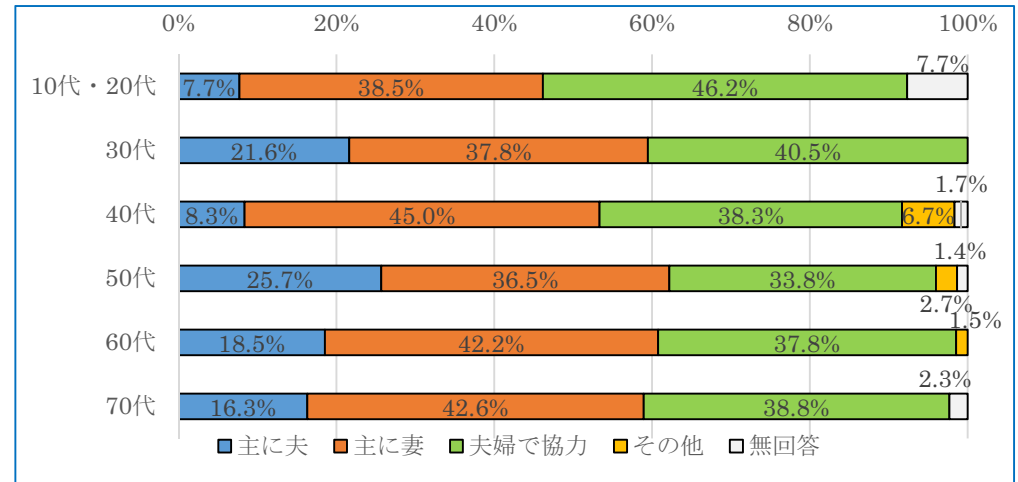
**設問 4** 【既婚者のみ】家庭での役割分担の現状についてうかがいます。あなたの家庭では次の項目の家事などを主に誰が行っていますか。(1つ選択)

① 家計全体のやりくり

項目	回答数
主に夫	79
主に妻	185
夫婦で協力し合う	170
その他(必要が無い、他の家族がやっているなど)	8
無回答	6
合計	448



○ 年代による比較

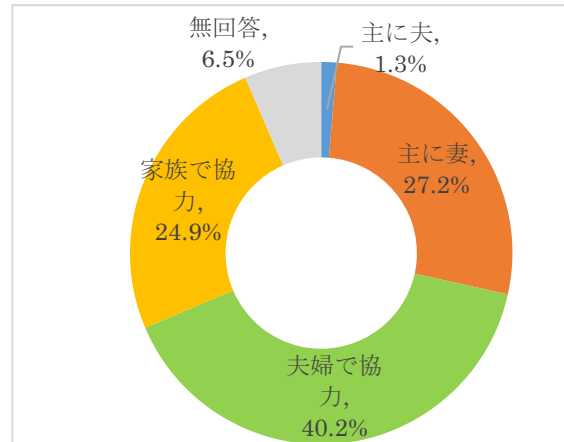


- 『①家計全体のやりくり』について、設問3（家事分担の理想）では、「夫婦で協力」の割合が最も高く47.6%、設問4（実際の家事分担）では、「主に妻」の割合が高く41.3%となっています。
- 「主に妻」について、設問3（家事分担の理想）では18.4%ですが、設問4（実際の家事分担）では41.3%と大きな隔たりがあります。
- 年代別では、各世代ともに同じような傾向で、大きな差が見られません。

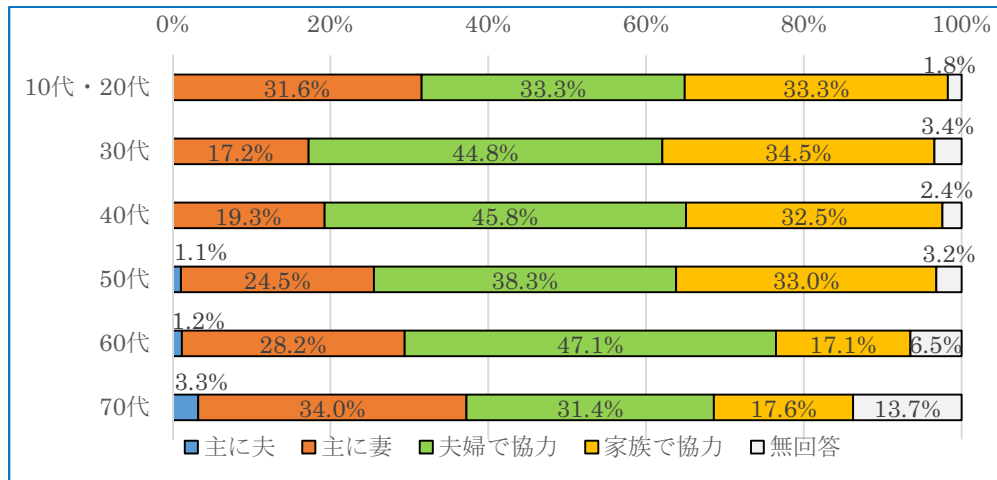
### 設問3

#### ② 日常の買い物

項目	回答数
主に夫	8
主に妻	167
夫婦で協力し合う	247
家族で協力し合う	153
無回答	40
合計	615



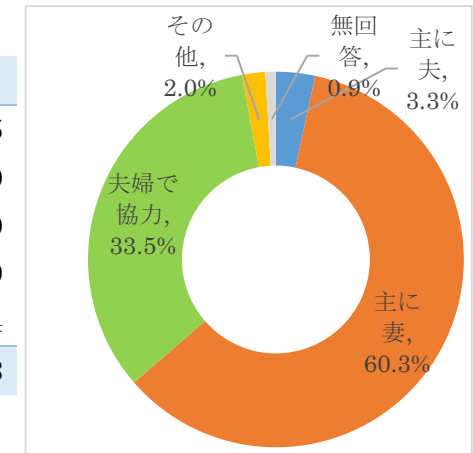
#### ○ 年代による比較



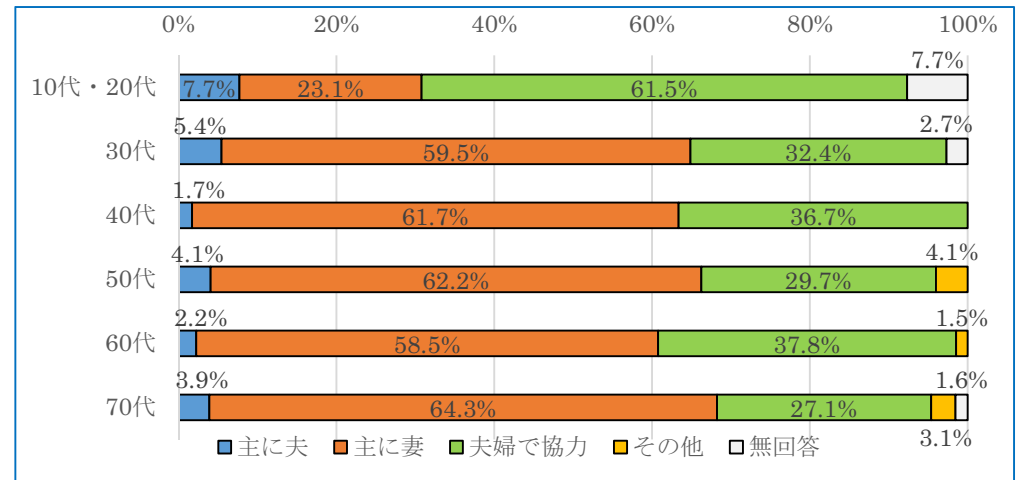
### 設問4

#### ② 日常の買い物

項目	回答数
主に夫	15
主に妻	270
夫婦で協力し合う	150
その他 (必要が無い、他の家族がやっているなど)	9
無回答	4
合計	448



#### ○ 年代による比較

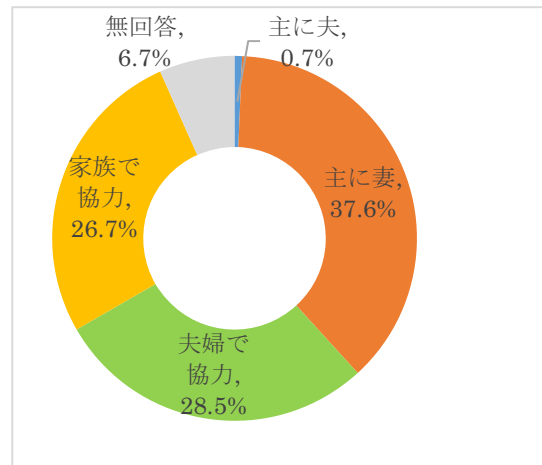


- 『②日常の買い物』について、設問3（家事分担の理想）では、「夫婦で協力」の割合が最も高く40.2%、設問4（実際の家事分担）では、「主に妻」の割合が高く60.3%となっています。
- 「主に妻」については、設問3（家事分担の理想）では27.2%ですが、設問4（実際の家事分担）では60.3%と約2倍となります。
- 年代別では、設問3（家事分担の理想）では各年代に大きな差が見られませんが、設問4（実際の家事分担）では、10代・20代で「夫婦で協力」の割合が6割、「主に妻」の割合が2割であり、他の世代の「夫婦で協力」「主に妻」の割合と逆転しています。

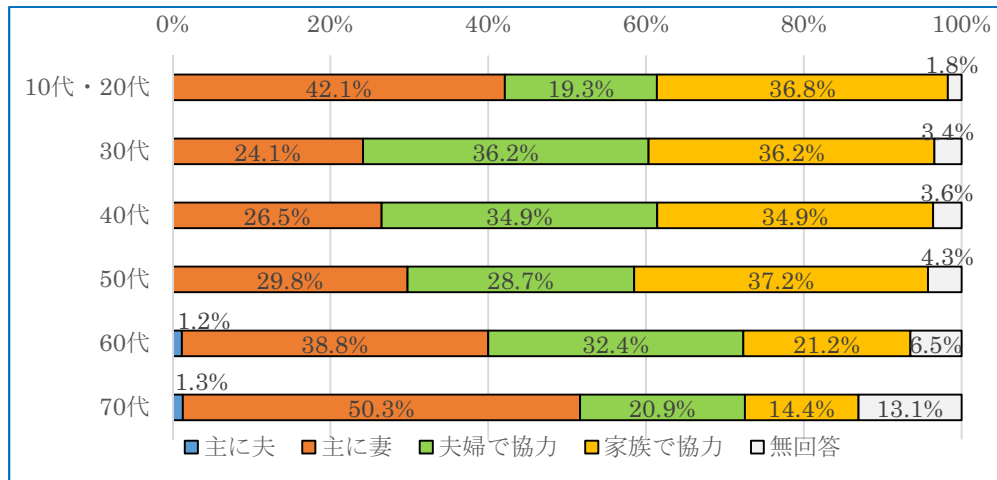
### 設問3

#### ③ 食事の支度

項目	回答数
主に夫	4
主に妻	231
夫婦で協力し合う	175
家族で協力し合う	164
無回答	41
合計	615



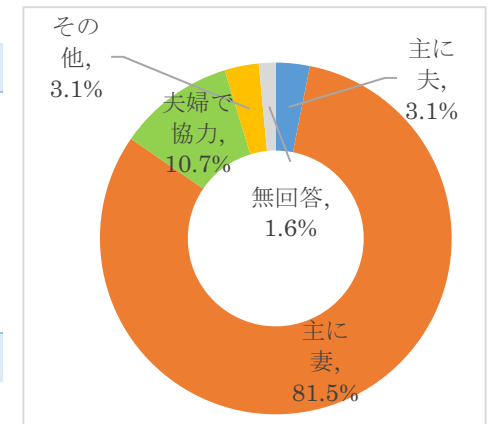
#### ○ 年代による比較



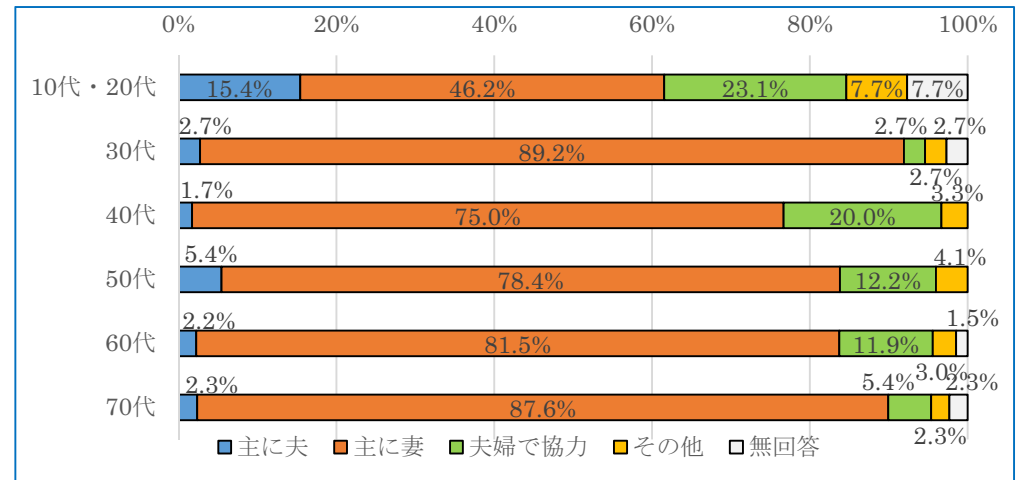
### 設問4

#### ③ 食事の支度

項目	回答数
主に夫	14
主に妻	365
夫婦で協力し合う	48
その他(必要が無い、他の家族がやっているなど)	14
無回答	7
合計	448



#### ○ 年代による比較

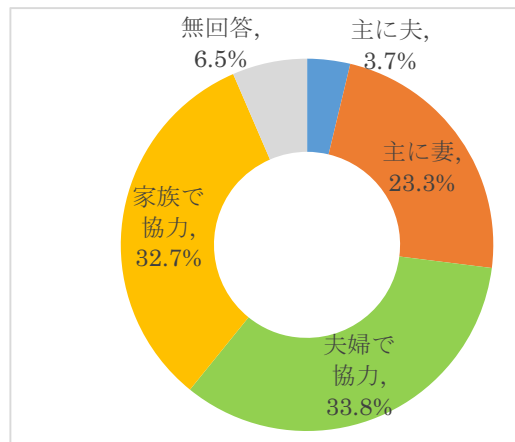


- 『③食事の支度』について、設問3（家事分担の理想）では、それぞれ項目が概ね3分の1ずつを占めていますが、設問4（実際の家事分担）では、「主に妻」が約8割を占めています。
- 年代別では、設問3（家事分担の理想）では、概ね年代が上がるにつれて「主に妻」の割合が増加していますが、10代・20代は70代について「主に妻」が高い割合となっています。
- また、10代・20代は、設問4（実際の家事分担）で「主に夫」の割合が15.4%と、他の年代と比べて突出しています。

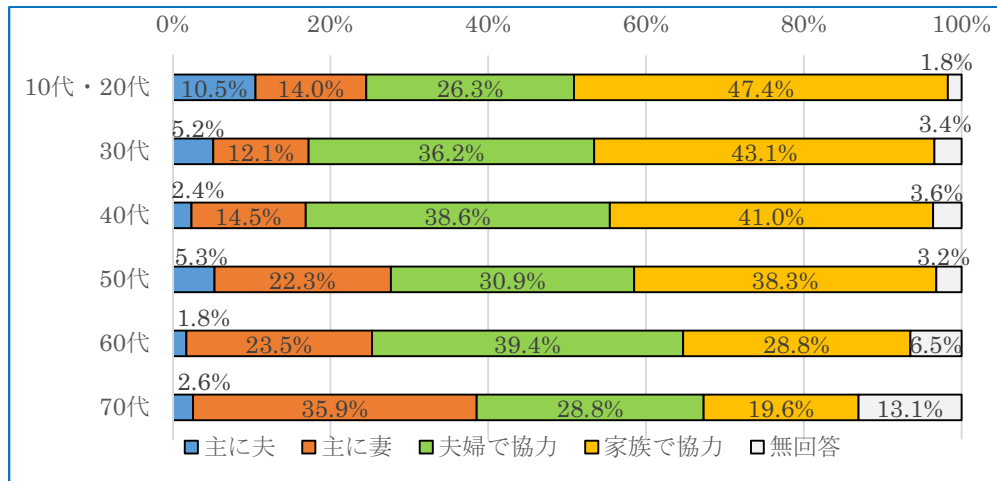
### 設問3

#### ④ 食事の後片付け

項目	回答数
主に夫	23
主に妻	143
夫婦で協力し合う	208
家族で協力し合う	201
無回答	40
合計	615



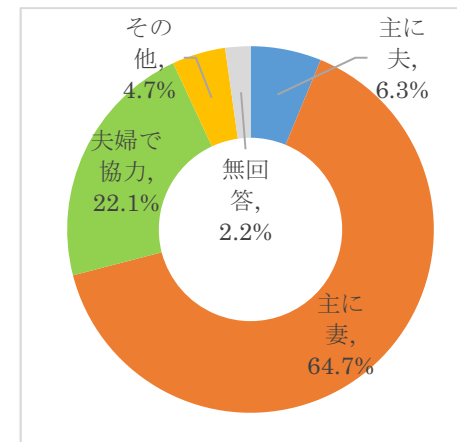
#### ○ 年代による比較



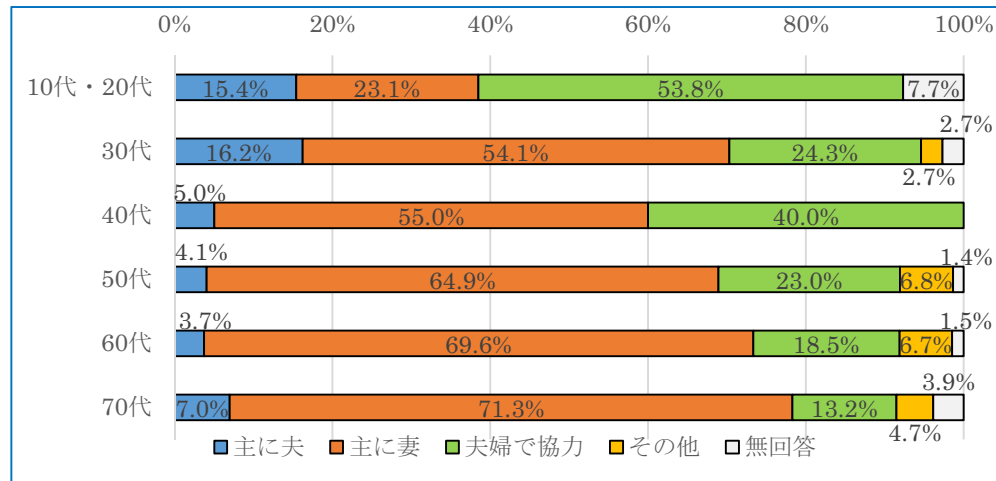
### 設問4

#### ④ 食事の後片付け

項目	回答数
主に夫	28
主に妻	290
夫婦で協力し合う	99
その他 (必要が無い、他の家族がやっているなど)	21
無回答	10
合計	448



#### ○ 年代による比較

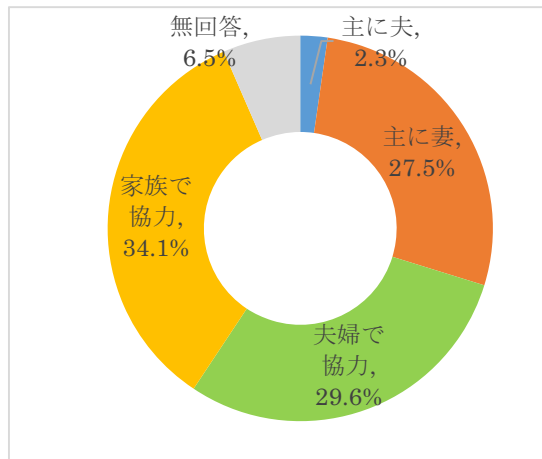


- 『④食事の片付け』について、設問3（家事分担の理想）では、「主に妻」「夫婦で協力」「家族で協力」の各項目が、それぞれ概ね3分の1ずつとなっていますが、設問4（実際の家事分担）では、「主に妻」が約6割を占めています。
- 年代別では、両設問とも、年代が上がるにつれて「主に妻」の割合が増加しています。
- また、設問4では年代が若いほど「夫婦で協力」する割合が高くなっていますが、30代は24.3%と他の世代と比較して、低い割合になっています。

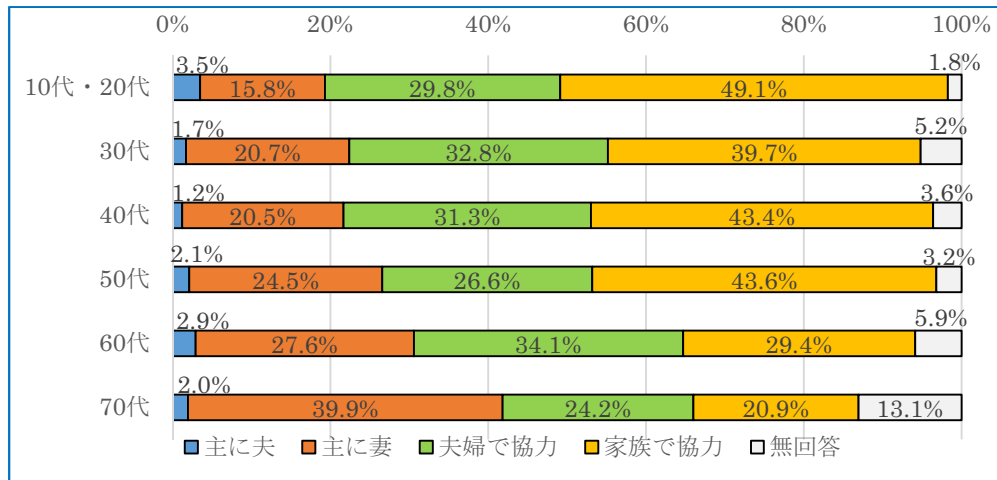
### 設問3

#### ⑤ 掃除（主に家中）

項目	回答数
主に夫	14
主に妻	169
夫婦で協力し合う	182
家族で協力し合う	210
無回答	40
合計	615



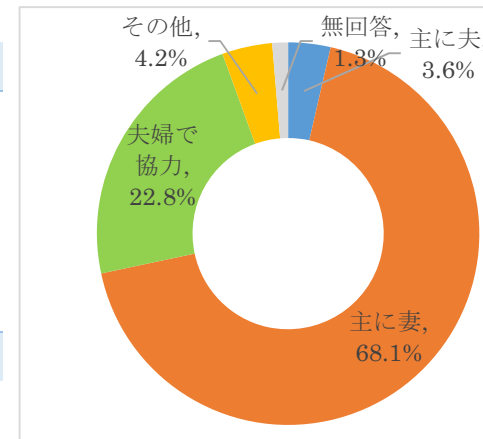
#### ○ 年代による比較



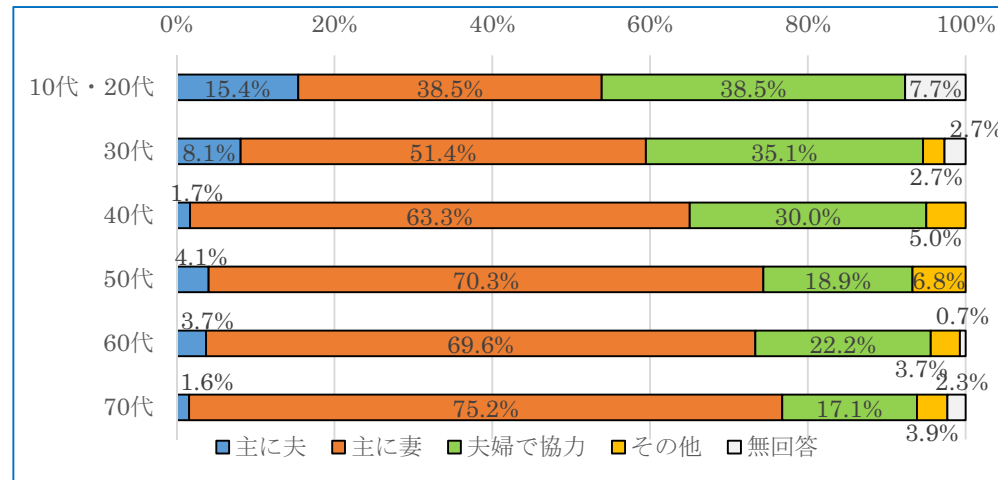
### 設問4

#### ⑤ 掃除（主に家中）

項目	回答数
主に夫	16
主に妻	305
夫婦で協力し合う	102
その他（必要が無い、他の家族がやっているなど）	19
無回答	6
合計	448



#### ○ 年代による比較



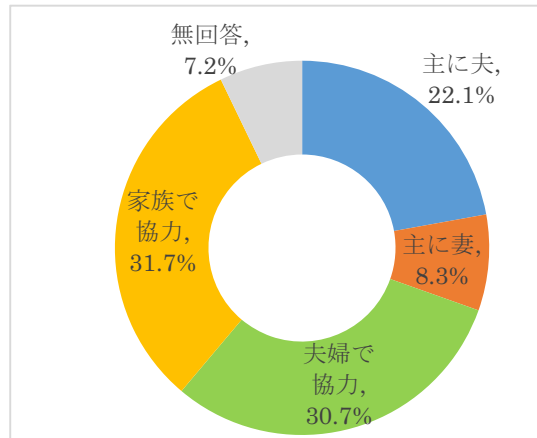
- 『⑤掃除（主に家中）』について、設問3（家事分担の理想）では、「主に妻」「夫婦で協力」「家族で協力」の各項目が、それぞれ概ね3分の1ずつとなっていますが、設問4（実際の家事分担）では、「主に妻」が約7割を占めています。
- 年代別では、両設問とも、概ね年代が高くなるにつれて「主に妻」の割合が増加し、「夫婦で協力」または「家族で協力」の割合が減少しています。



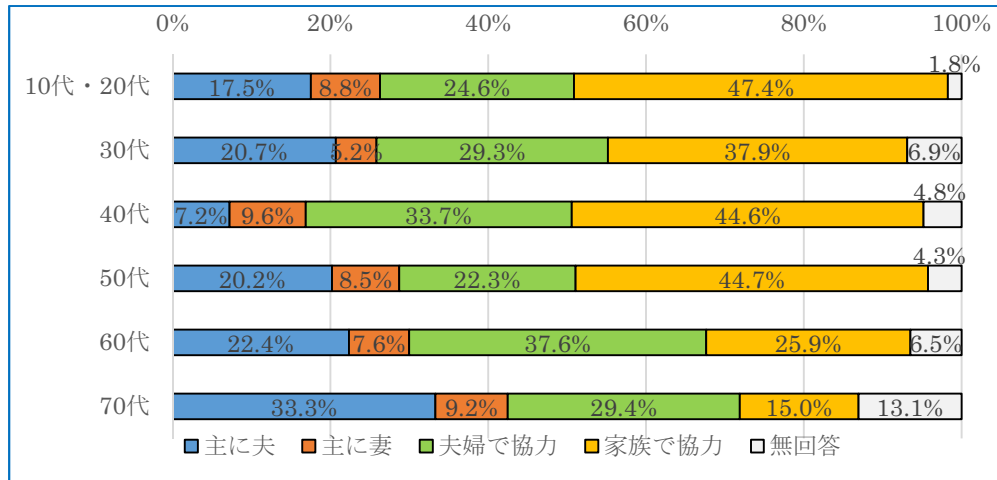
### 設問3

#### ⑥ 掃除（外回り、庭など）

項目	回答数
主に夫	136
主に妻	51
夫婦で協力し合う	189
家族で協力し合う	195
無回答	44
合計	615



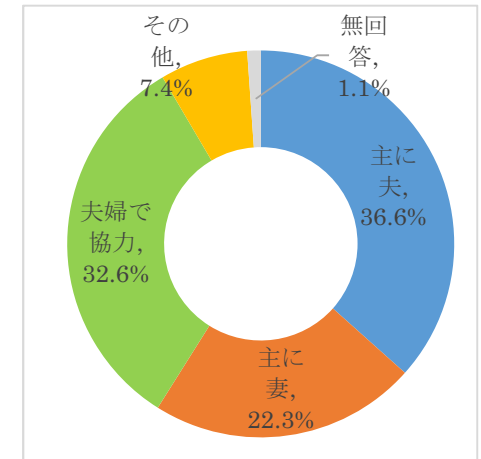
#### ○ 年代による比較



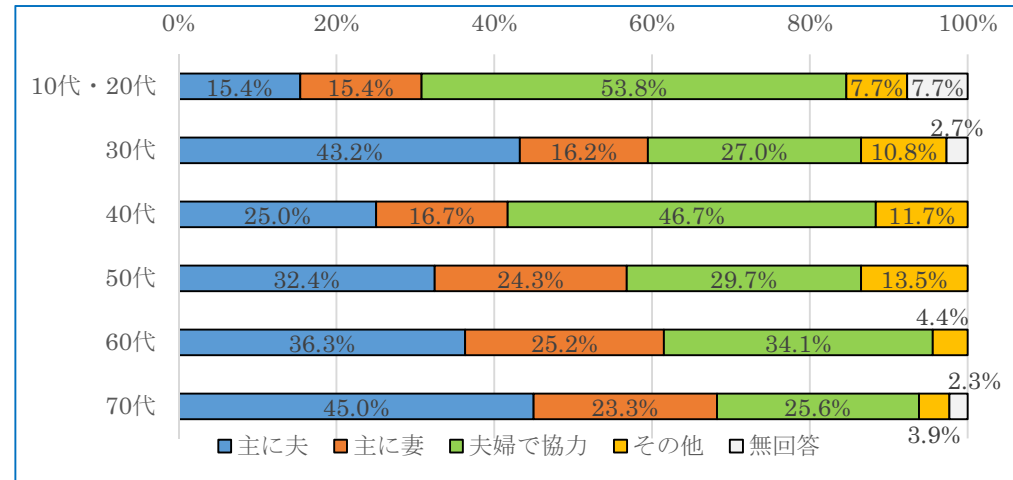
### 設問4

#### ⑥ 掃除（外回り、庭など）

項目	回答数
主に夫	164
主に妻	100
夫婦で協力し合う	146
その他（必要が無い、他の家族がやっているなど）	33
無回答	5
合計	448



#### ○ 年代による比較



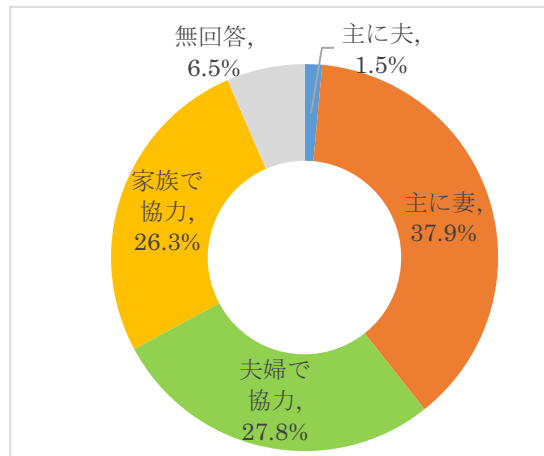
○ 『⑥掃除（外回り、庭など）』について、全年代において、設問3（家事分担の理想）では「家族で協力」及び「夫婦で協力」で過半を占めていますが、設問4では「主に夫」「主に妻」で過半となっています。

○ 年代別では、両設問とも、年代が高くなるにつれて「主に妻」の割合が増加し、「夫婦で協力」または「家族で協力」の割合が減少しています。

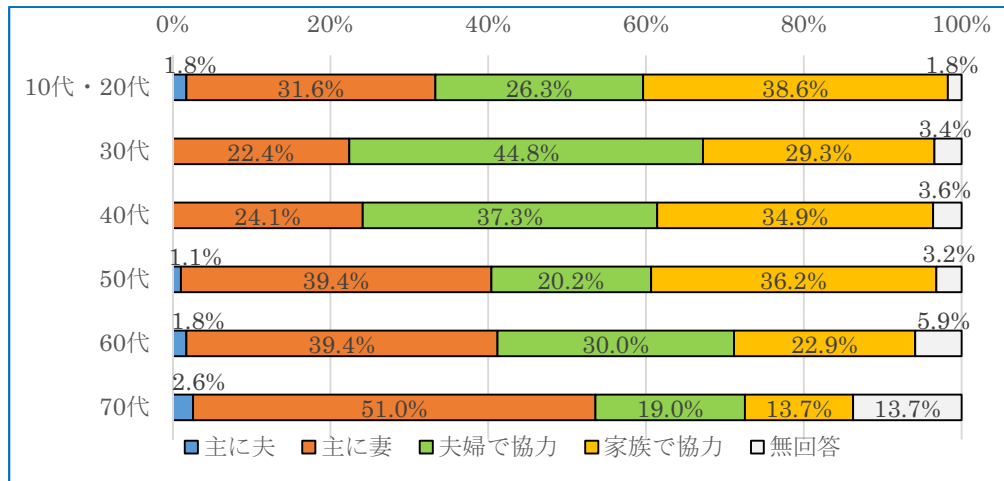
### 設問3

#### ⑦ 洗濯

項目	回答数
主に夫	9
主に妻	233
夫婦で協力し合う	171
家族で協力し合う	162
無回答	40
合計	615



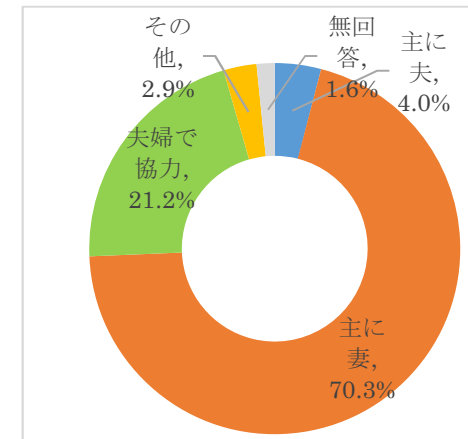
#### ○ 年代による比較



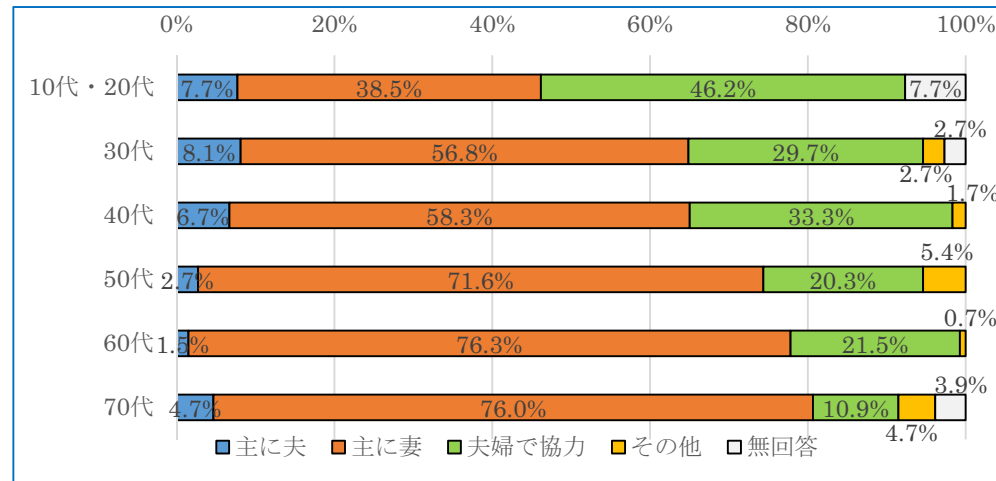
### 設問4

#### ⑦ 洗濯

項目	回答数
主に夫	18
主に妻	315
夫婦で協力し合う	95
その他 (必要が無い、他の家族がやっているなど)	13
無回答	7
合計	448



#### ○ 年代による比較



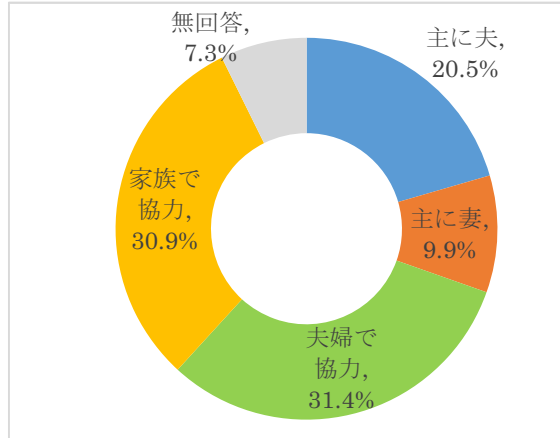
○ 『⑦洗濯』について、設問3（家事分担の理想）では、「主に妻」「夫婦で協力」「家族で協力」の各項目が、それぞれ概ね3分の1ずつを占めていますが、設問4（実際の家事分担）では、「主に妻」が約7割を占めています。

○ 年代別では、両設問とも、年代が高くなるにつれて「主に妻」の割合が増加し、「夫婦で協力」または「家族で協力」の割合が減少しています。

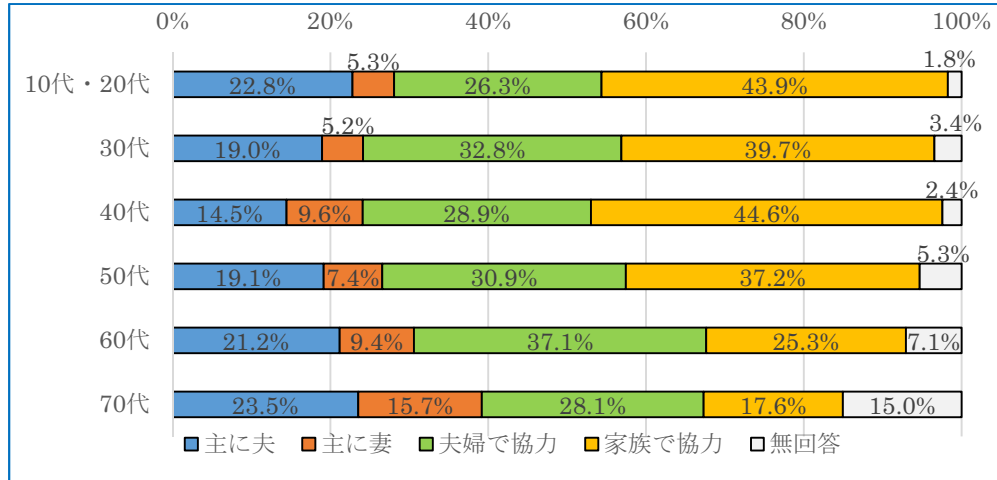
### 設問3

#### ⑧ ごみ出し

項目	回答数
主に夫	126
主に妻	61
夫婦で協力し合う	193
家族で協力し合う	190
無回答	45
合計	615



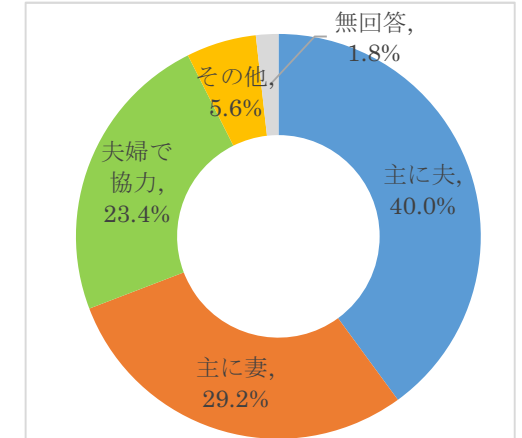
#### ○ 年代による比較



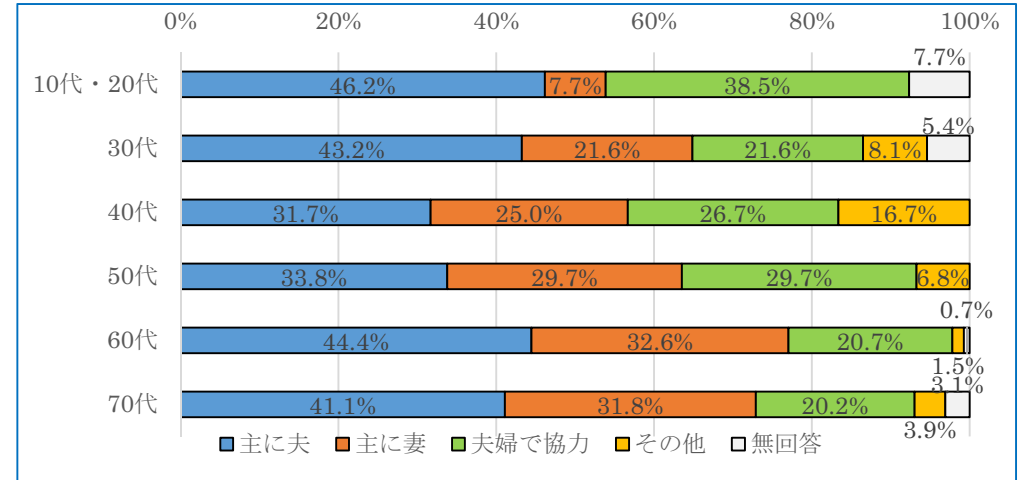
### 設問4

#### ⑧ ごみ出し

項目	回答数
主に夫	179
主に妻	131
夫婦で協力し合う	105
その他 (必要が無い、他の家族がやっているなど)	25
無回答	8
合計	448



#### ○ 年代による比較



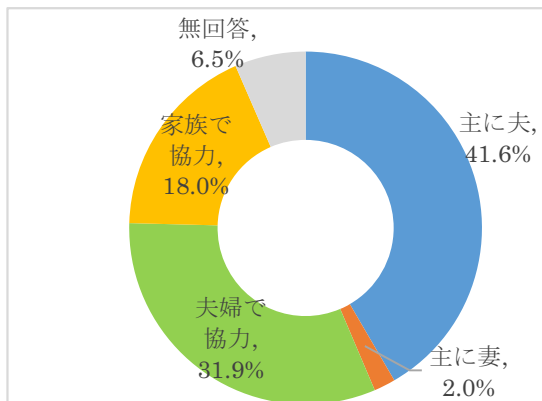
○ 『⑧ごみ出し』について、設問3（家事分担の理想）では「夫婦で協力」「家族で協力」がそれぞれ3割で、「主に夫」が2割となっていますが、設問4では主に夫が4割、夫婦で協力が2割となっています。ごみ出しについては6割の夫が何らかの役割を担っていると言えます。

○ 年代別では、割合に多少の差があるものの、各年代とも同じような傾向となっています。

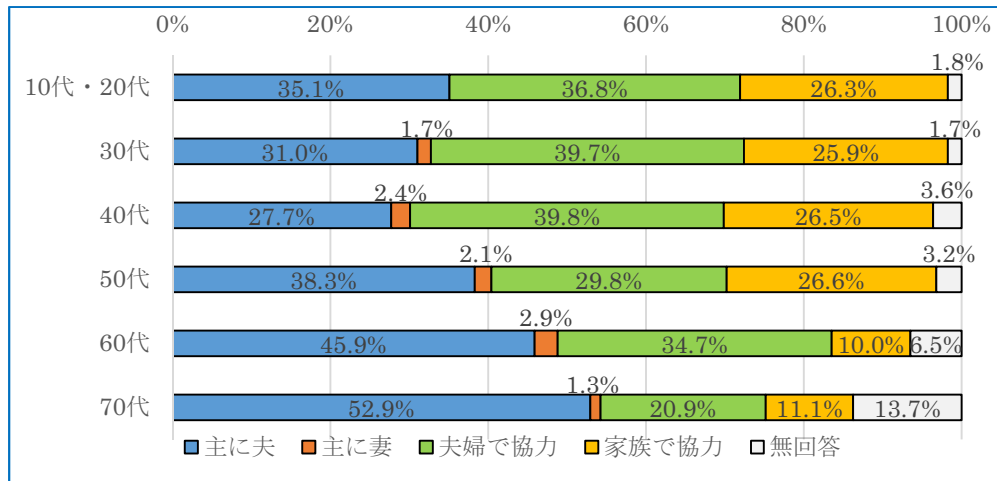
### 設問3

#### ⑨ 住宅や自家用車などの維持管理

項目	回答数
主に夫	256
主に妻	12
夫婦で協力し合う	196
家族で協力し合う	111
無回答	40
合計	615



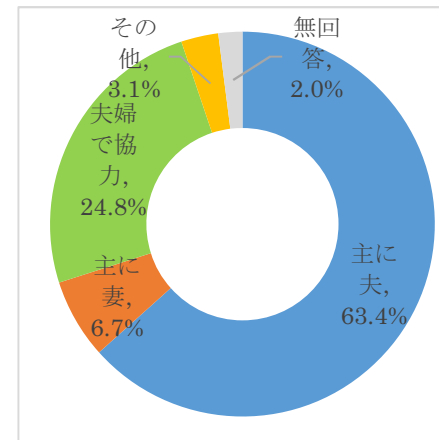
#### ○ 年代による比較



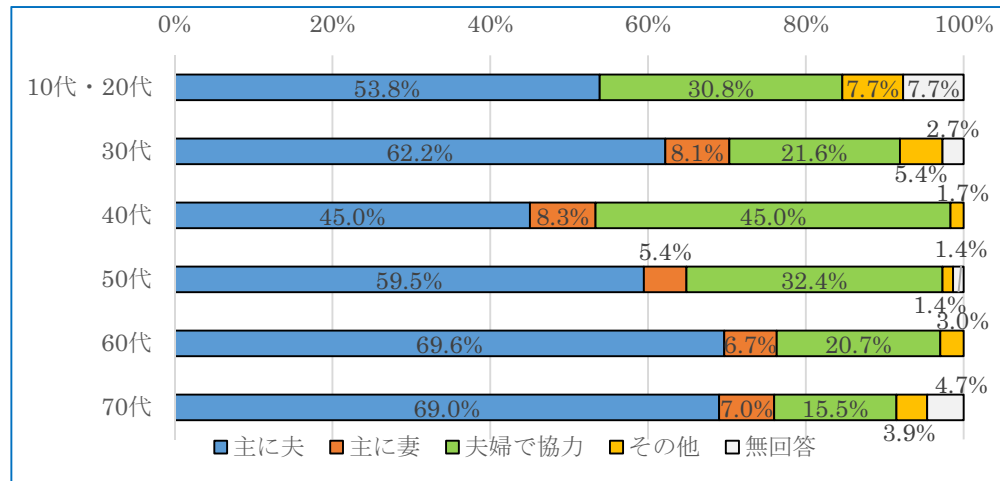
### 設問4

#### ⑨ 住宅や自家用車などの維持管理

項目	回答数
主に夫	284
主に妻	30
夫婦で協力し合う	111
その他(必要な、他の家族がやっているなど)	14
無回答	9
合計	448



#### ○ 年代による比較

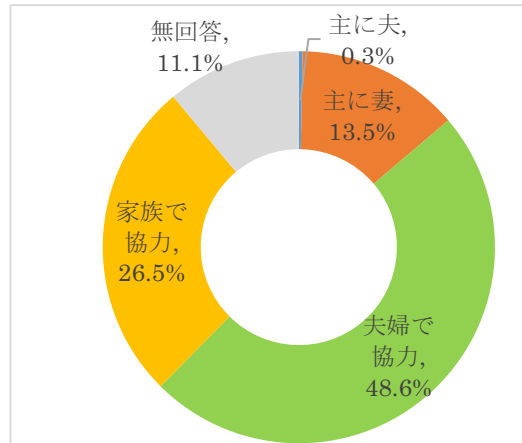


- 『⑨住宅や自家用車などの維持管理』について、「主に夫」との回答が、設問3（家事分担の理想）で4割、設問4（実際の家事分担）では6割を超えています。
- 年代別では、設問3（家事分担の理想）で40代と50代を境に「主に夫」と「夫婦で協力」が逆転し、年代が上がるにつれて「主に夫」の割合が高くなっています。
- 設問4（実際の家事分担）では、40代で「主に夫」と「夫婦で協力」の割合が等しくなるほかは、各年代とも「主に夫」の割合が高くなっています。

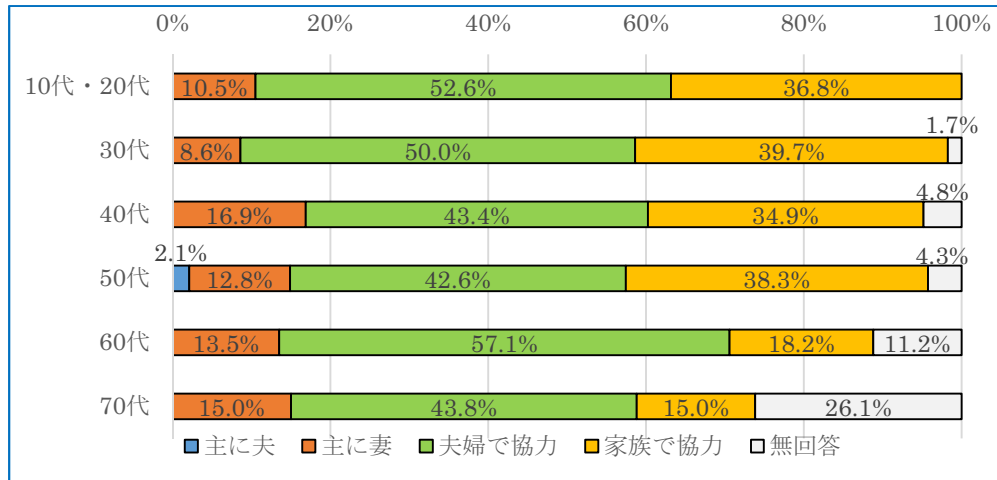
### 設問3

#### ⑩ 子どもの世話

項目	回答数
主に夫	2
主に妻	83
夫婦で協力し合う	299
家族で協力し合う	163
無回答	68
合計	615



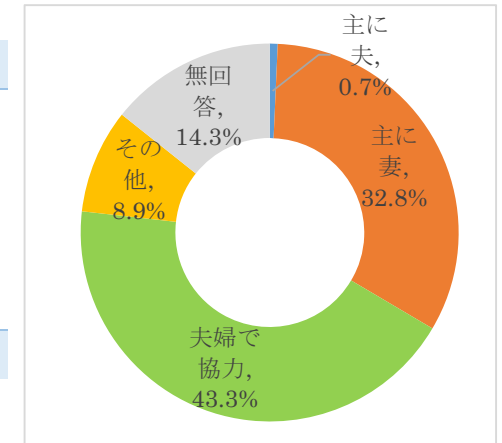
#### ○ 年代による比較



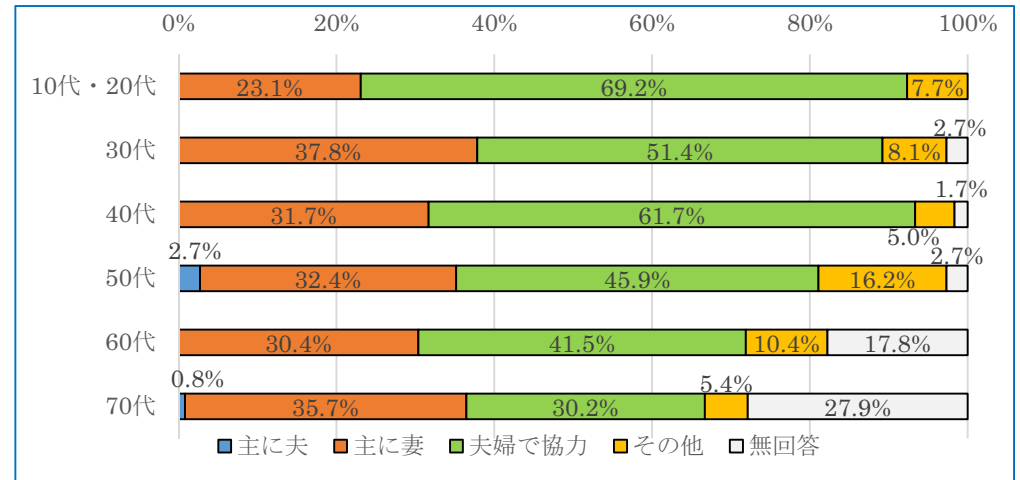
### 設問4

#### ⑩ 子どもの世話

項目	回答数
主に夫	3
主に妻	147
夫婦で協力し合う	194
その他 (必要が無い、他の家族がやっているなど)	40
無回答	64
合計	448



#### ○ 年代による比較

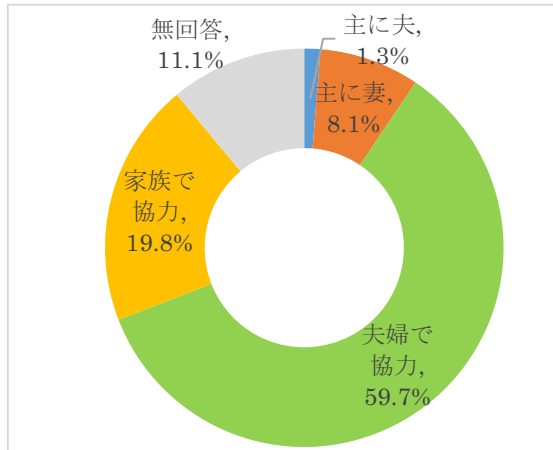


- 『⑩子どもの世話』について、設問3（家事分担の理想）では「夫婦で協力」が約半数で、設問4（実際の家事分担）でもほぼ同じ割合となっています。
- 「主に妻」の割合は、設問3（家事分担の理想）では13.5%ですが、設問4（実際の家事分担）では32.8%と大きな隔たりがあります。
- 年代別では、設問3（家事分担の理想）では、各年代とも同じような傾向となっていますが、設問4（実施の家事分担）では、年代が上がるにつれて、「主に妻」が増え、「夫婦で協力」が減少しています。

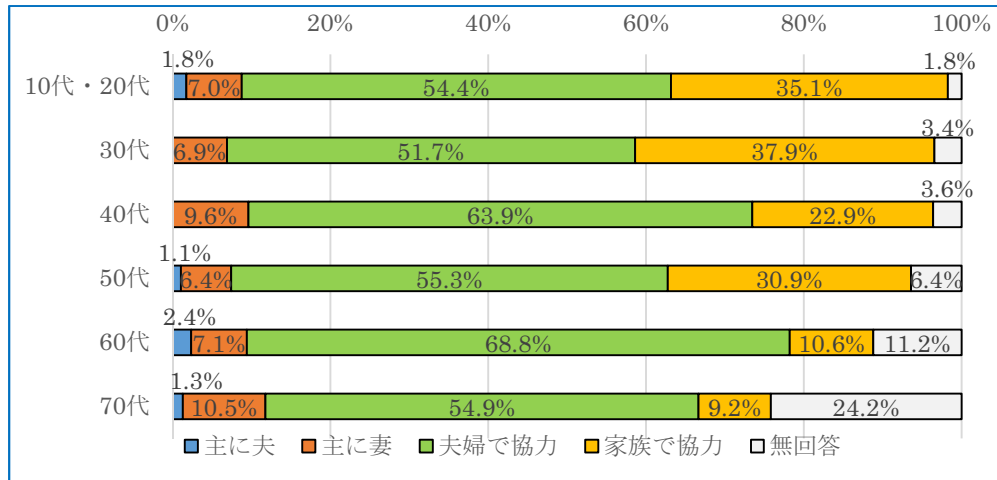
### 設問3

#### ⑪ 子どもの教育

項目	回答数
主に夫	8
主に妻	50
夫婦で協力し合う	367
家族で協力し合う	122
無回答	68
合計	615



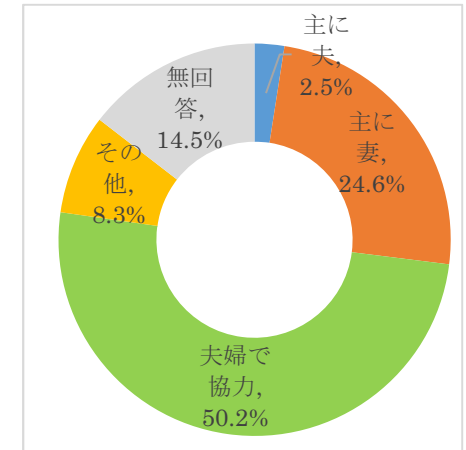
#### ○ 年代による比較



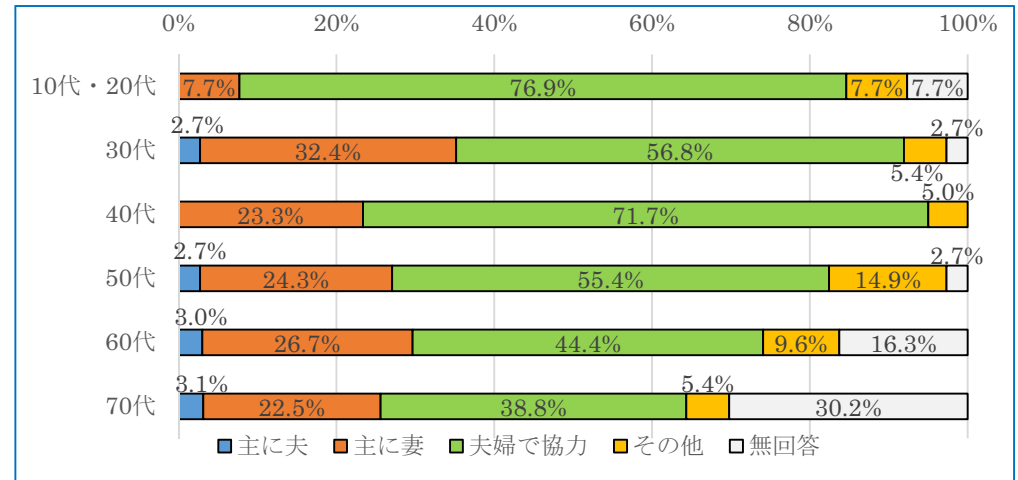
### 設問4

#### ⑪ 子どもの教育

項目	回答数
主に夫	11
主に妻	110
夫婦で協力し合う	225
その他 (必要が無い、他の家族がやっているなど)	37
無回答	65
合計	448



#### ○ 年代による比較

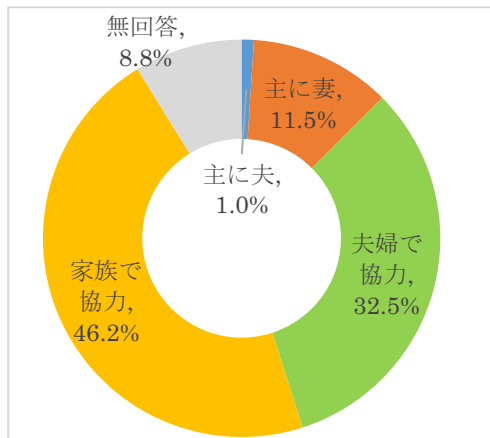


- 『⑪子どもの教育』について、設問3（家事分担の理想）では、「夫婦で協力」が約6割となっており、設問4（実際の家事分担）でも5割と高い割合となっています。
- 「主に妻」の割合は、設問3（家事分担の理想）では8.1%ですが、設問4（実際の家事分担）では約3倍の24.6%となっています。
- 年代別では、設問3（家事分担の理想）では、各年代とも同じような傾向が見られますが、設問4（実施の家事分担）では、年代が上がるにつれて、「主に妻」が増え、「夫婦で協力」が減少しています。

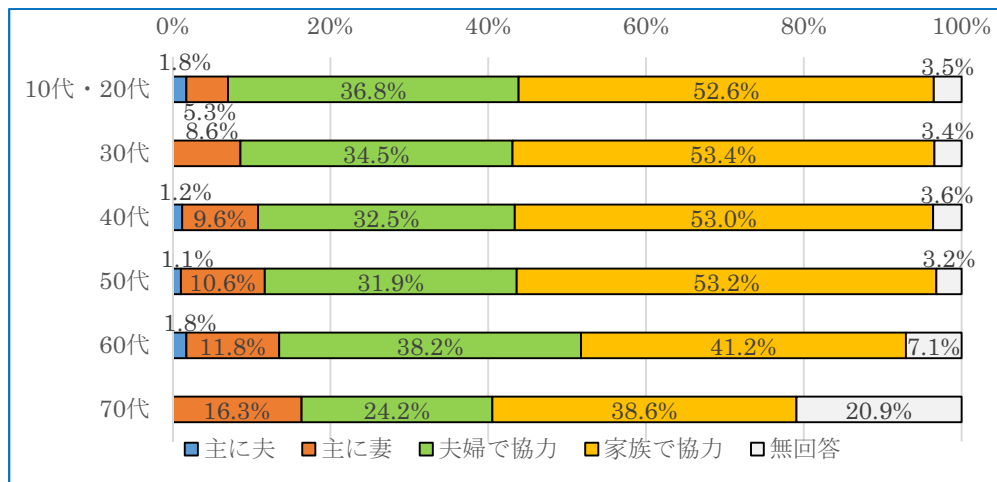
### 設問 3

#### ⑫ 病人の世話や高齢者の介護

項目	回答数
主に夫	6
主に妻	71
夫婦で協力し合う	200
家族で協力し合う	284
無回答	54
合計	615



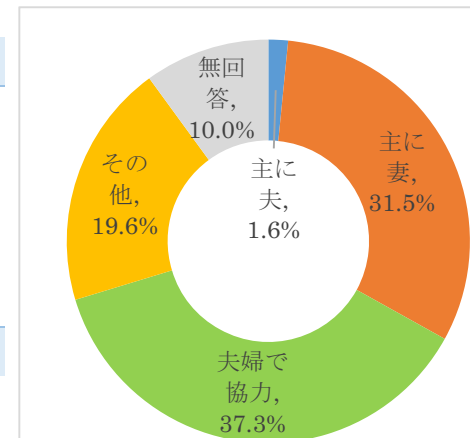
#### ○ 年代による比較



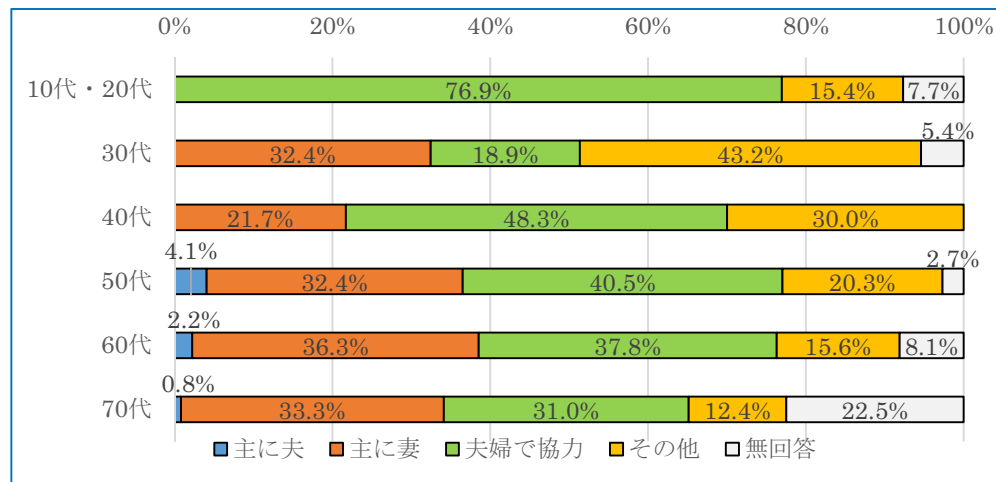
### 設問 4

#### ⑫ 病人の世話や高齢者の介護

項目	回答数
主に夫	7
主に妻	141
夫婦で協力し合う	167
その他 (必要な無い、他の家族がやっているなど)	88
無回答	45
合計	448



#### ○ 年代による比較

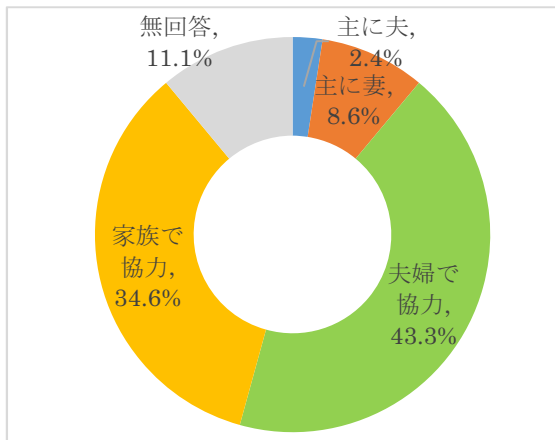


- 『⑫病人の世話や高齢者の介護』について、設問 3 (家事分担の理想) では、「家族で協力」の割合が最も高く 46.2%、次いで「夫婦で協力」が 32.5%となっており、協力して行う割合が 78.7%となっています。
- 設問 4 (実際の家事分担) では、「家族で協力」が 37.3%、次に「主に妻」31.5%となっています。
- 年代別では、設問 3 (家事分担の理想) では、各世代同じような傾向となっていますが、設問 4 (実際の家事分担) の 10代・20代では、「主に夫」及び「主に妻」はともに皆無で、「夫婦で協力」の割合が 76.9%と非常に高くなっています。また、30代では「夫婦で協力」する割合が 18.9%と他の世代に比べて著しく低くなっています。

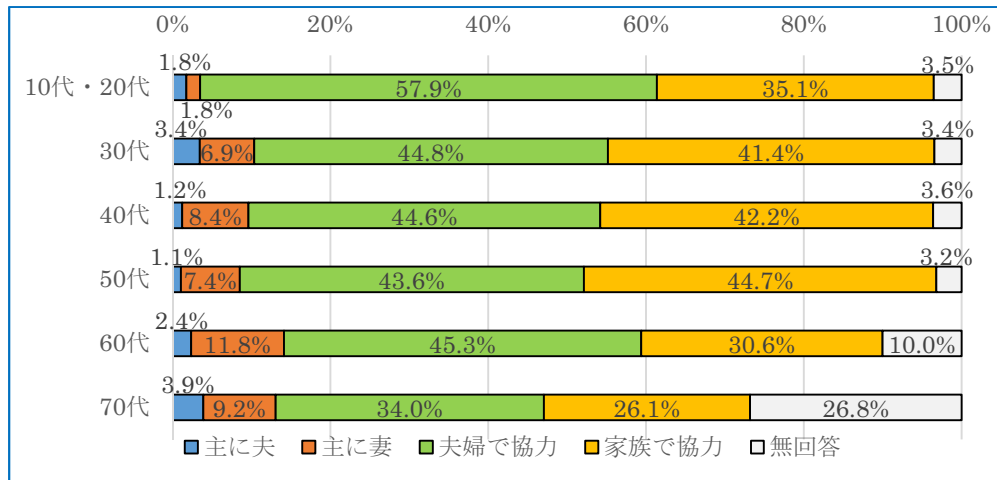
### 設問 3

#### ⑬ 学校や保育園の送迎

項目	回答数
主に夫	15
主に妻	53
夫婦で協力し合う	266
家族で協力し合う	213
無回答	68
合計	615



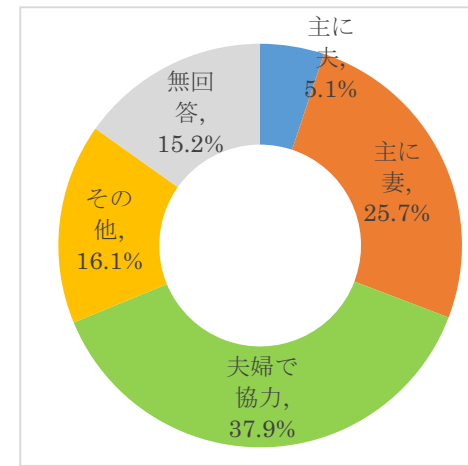
#### ○ 年代による比較



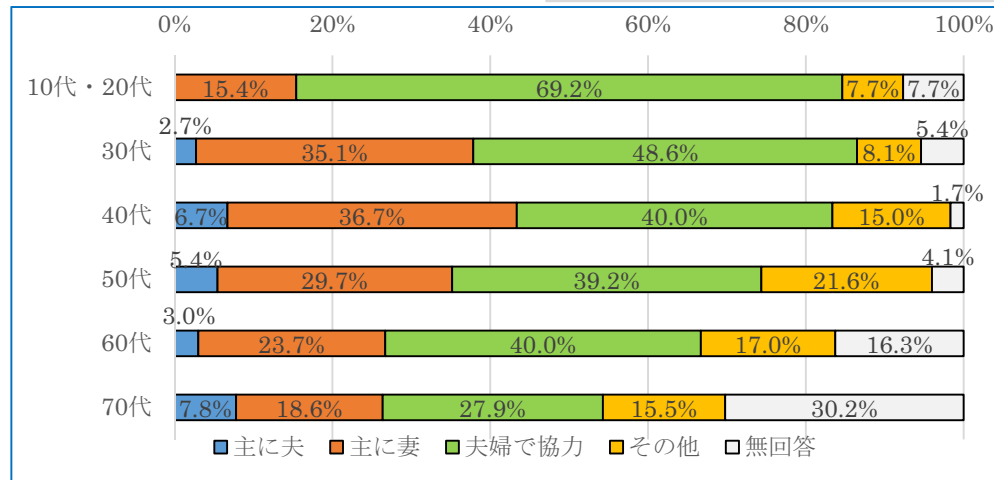
### 設問 4

#### ⑬ 学校や保育園の送迎

項目	回答数
主に夫	23
主に妻	115
夫婦で協力し合う	170
その他 (必要が無い、他の家族がやっているなど)	72
無回答	68
合計	448



#### ○ 年代による比較



○ 『⑬学校や保育園の送迎』について、設問 3（家事分担の理想）では、「夫婦で協力」が 43.3%、「家族で協力」が 34.6%で、全体の 77.9% を占めています。

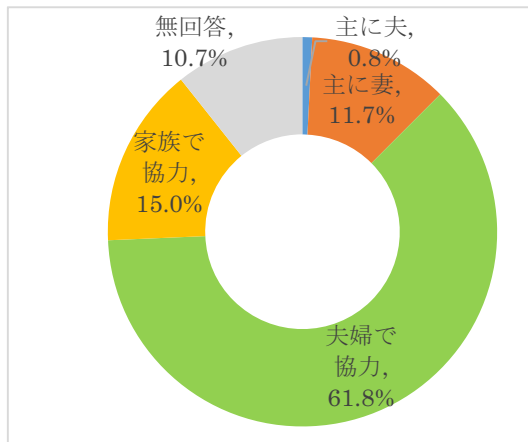
○ 年代別に見ると、設問 3（家事分担の理想）では、各世代同じような傾向となっていますが、設問 4（実際の家事分担）の 10 代・20 代では、「夫婦で協力する」が 69.2%と他の年代に比べて極めて高くなっています。



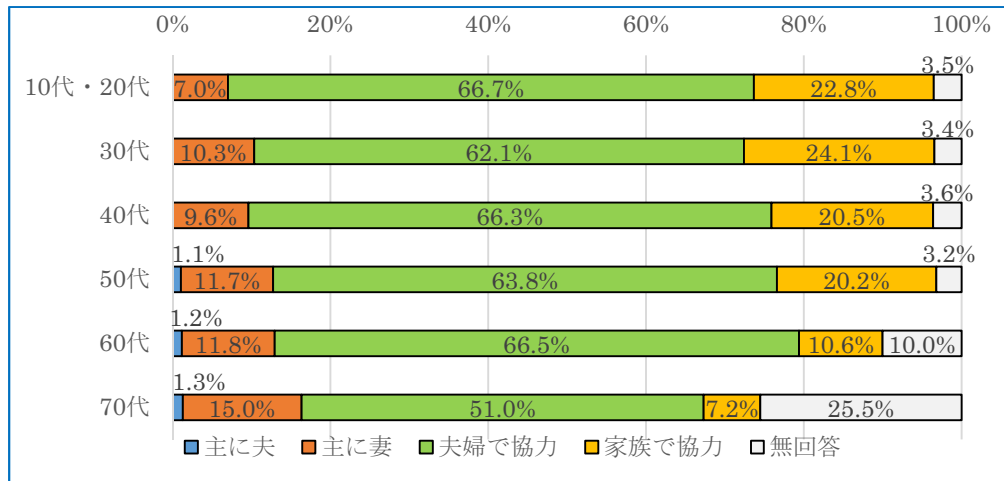
### 設問 3

#### ⑭ 授業参観などの学校行事

項目	回答数
主に夫	5
主に妻	72
夫婦で協力し合う	380
家族で協力し合う	92
無回答	66
合計	615



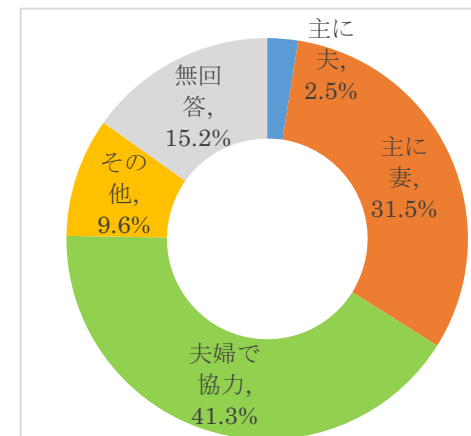
#### ○ 年代による比較



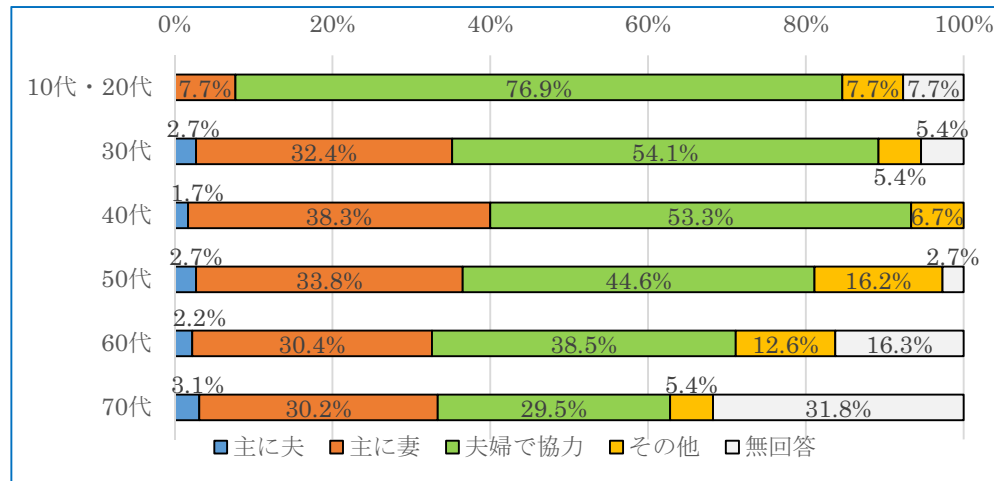
### 設問 4

#### ⑭ 授業参観などの学校行事

項目	回答数
主に夫	11
主に妻	141
夫婦で協力し合う	185
その他 (必要が無い、他の家族がやっているなど)	43
無回答	68
合計	448



#### ○ 年代による比較



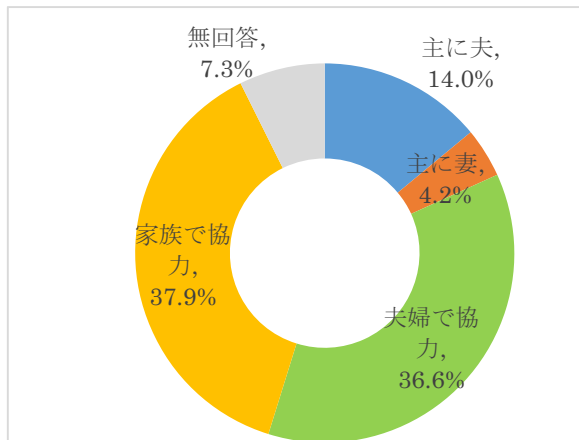
○ 『⑭授業参観などの学校行事』について、設問 3（家事分担の理想）では、「夫婦で協力」が 61.8% を占め、他の項目を大きく上回っていますが、設問 4（実際の家事分担）では、「夫婦で協力」が 41.3% に減少し、「主に妻」が 31.5% となっています。

○ 年代別では、設問 3（家事分担の理想）では、各年代とも同じような傾向となっていますが、設問 4（実際の家事分担）の 10 代・20 代では、「夫婦で協力」が 76.9% と他の年代に比べて極めて高くなっており、年代が上がるにつれて「夫婦で協力」が減少しています。

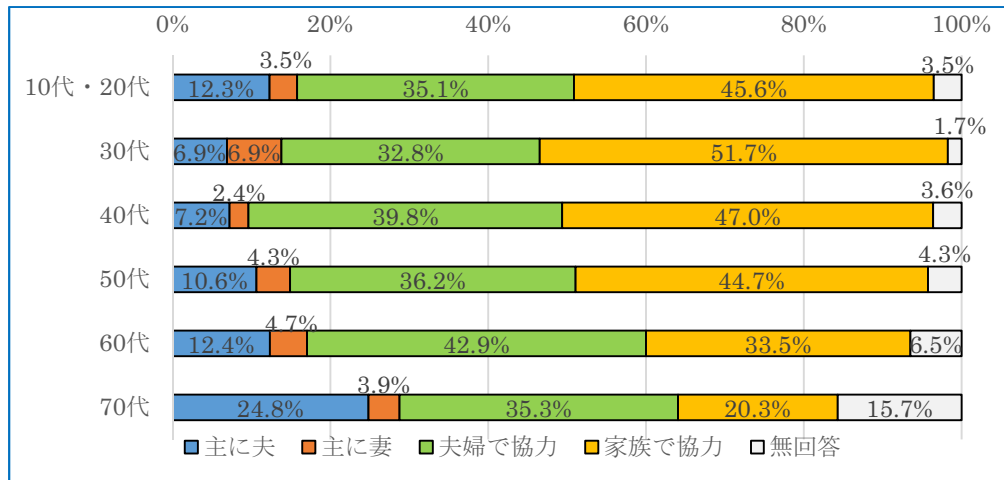
### 設問 3

#### ⑮ 地域活動

項目	回答数
主に夫	86
主に妻	26
夫婦で協力し合う	225
家族で協力し合う	233
無回答	45
合計	615



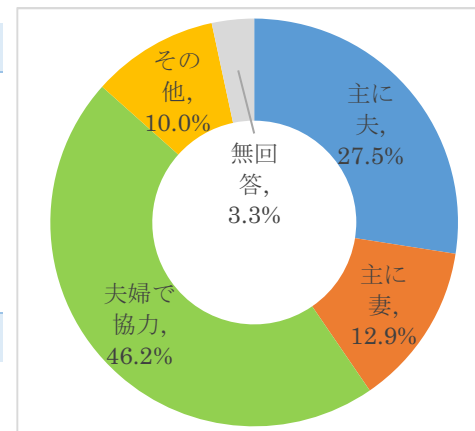
#### ○ 年代による比較



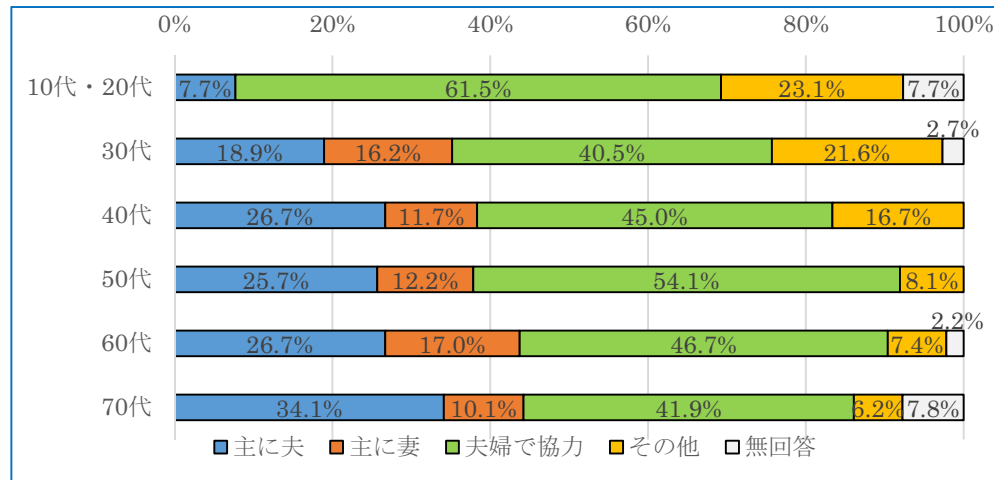
### 設問 4

#### ⑮ 地域活動

項目	回答数
主に夫	123
主に妻	58
夫婦で協力し合う	207
その他 (必要が無い、他の家族がやっているなど)	45
無回答	15
合計	448



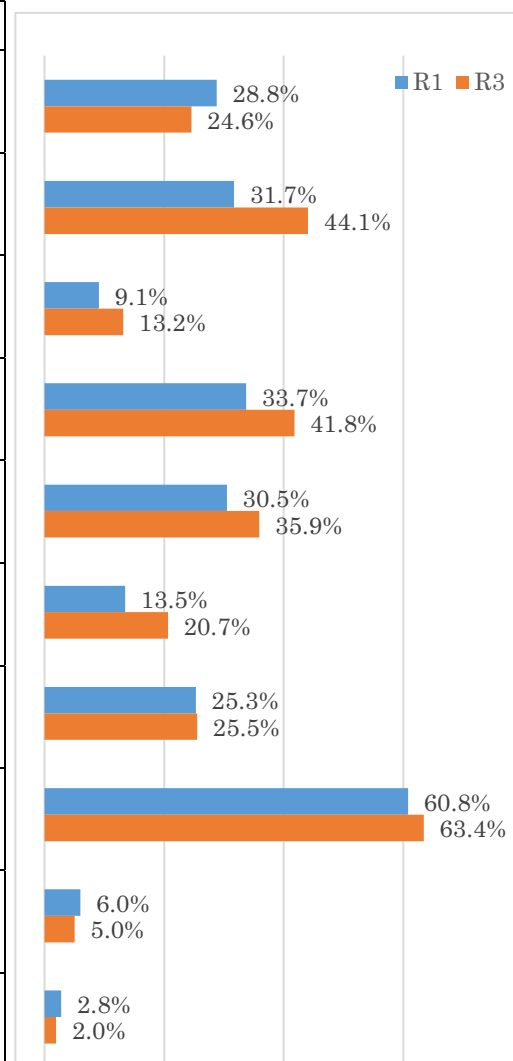
#### ○ 年代による比較



- 『⑮地域活動』では、設問 3 (家事分担の理想) では、「夫婦で協力」が 36.6%、「家族で協力」が 37.9%となっています。
- 年代別では、設問 4 (実際の家事分担) の 10代・20代では、「夫婦で協力」が 61.5%と他の年代に比べて高くなっていますが、他の各年代も概ね 40%と高い割合となっています。
- 設問 3 (家事分担の理想)、設問 4 (実際の家事分担) とともに、年代が上がるとともに、「主に夫」の割合が高くなる傾向が見られます。

**設問 5** あなたは、「男女共同参画社会」を築いていくために、どのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで選択）

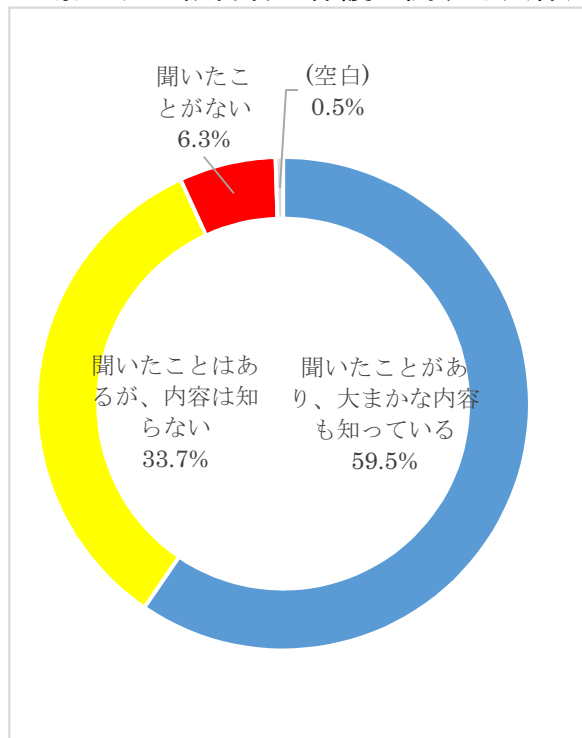
選択肢	回答数	割合
男女同等に知識や技術などを取得する	151	24.6%
法律や制度、意識の面での見直しを行い、男女差別につながる社会環境を改める	271	44.1%
男女共同参画に関する情報提供や相談窓口の充実を図る	81	13.2%
子どもの時から男女平等教育を徹底させる	257	41.8%
働く場での男女格差をなくすよう、企業などへ意識啓発を行う	221	35.9%
政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する	127	20.7%
企業や行政が仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を積極的に進める	157	25.5%
男女が共に働きながら、家事や子育て・介護などを両立できるような支援・サービスを充実させる	390	63.4%
広報紙などで男女平等や相互理解・協力についてPRする	31	5.0%
その他	12	2.0%



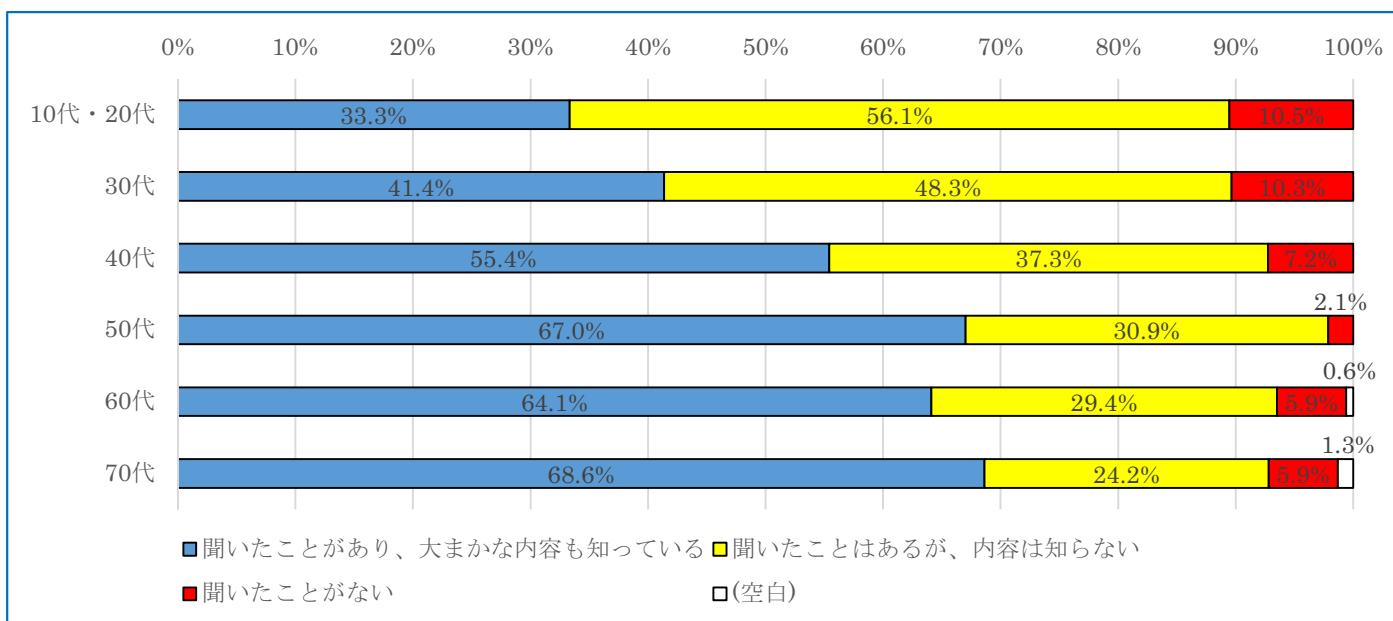
- 前回調査と同じ傾向となっており、「男女が共に働きながら、家事や子育て・介護などを両立できるような支援・サービスを充実させる」が最も多く、次いで、「法律や制度、意識の面での見直しを行い、男女差別につながる社会環境を改める」「子どもの時から男女平等教育を徹底させる」が多くなっています。
- 一人当たりの平均回答数（最大3つ）は、前回の2.4個から2.8個に増加しています。

設問 6 「配偶者暴力防止法」「DV防止法」（配偶者からの暴力及び被害者の保護に関する法律）について、あてはまるものをお選びください。

選択肢	回答数	割合
聞いたことがあります、大まかな内容も知っている	366	59.5%
聞いたことはあるが、内容は知らない	207	33.7%
聞いたことがない	39	6.3%
無回答	3	0.5%
総計	615	100%



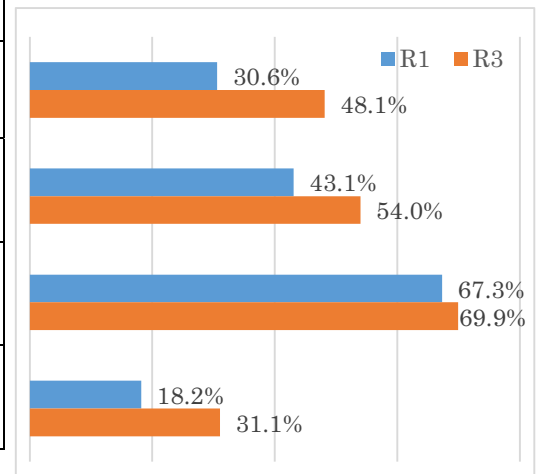
○ 年代による比較



- 「聞いたことがあります、大まかな内容も知っている」の割合が 59.5%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が 33.7%であり、DV 防止法の名称または内容を知っている人の割合は、93.2%となっています。
- 年代別では、年代が高くなるにつれて、「聞いたことがあります、大まかな内容を知っている」の割合が増加し、「聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が減少しています。
- 70代の「聞いたことがあります、大まかな内容を知っている」人の割合は、10代・20代の2倍となっています。

**設問7** DV（ドメスティック・バイオレンス：配偶者やパートナーに対する身体的・心理的・経済的・性的暴力、社会的隔離）を防止するためにどのような支援があるか、知っているものをお選びください。（あてはまるものすべて選択）

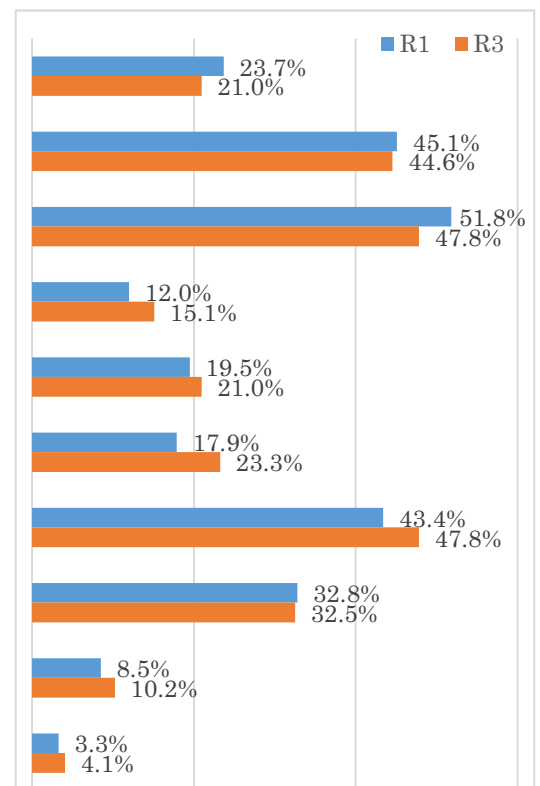
選択肢	回答数	割合
被害者支援の関連法律（配偶者暴力防止法）がある	296	48.1%
人権相談窓口がある	332	54.0%
警察で相談、保護を行っている	430	69.9%
配偶者暴力相談支援センターがある	191	31.1%



- 前回調査と同じ傾向となっており、「警察で相談保護を行っている」が最も多く、次いで、「人権相談窓口がある。」「被害者支援の関連法律がある」が続いています。
- 一人当たりの平均回答数（最大4つ）は、前回の1.6個から2.0個に増加しています。

**設問8** 児童虐待を防止するために、どのような取り組みを進めることが必要だと思いますか。特に重要だと思うものをお選びください。（あてはまるもの3つまで選択）

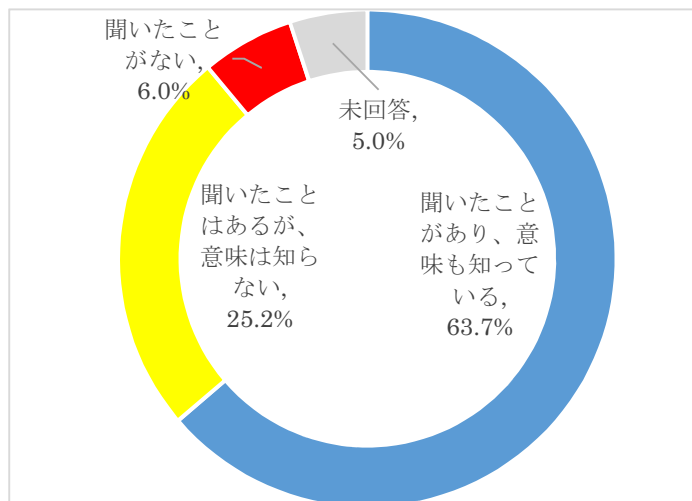
選択肢	回答数	割合
児童相談所や配偶者暴力相談支援センターなど関係機関の職員を増やす	129	21.0%
児童相談所や配偶者暴力相談支援センターなどの関係機関による迅速な介入や家庭訪問を増やす	274	44.6%
児童相談所や配偶者暴力相談支援センター、警察、行政など関係機関の連携を強化する	294	47.8%
地域の役員（民生委員・児童委員など）に声掛けをお願いする	93	15.1%
地域全体で子どもや保護者に積極的にあいさつなどの声かけをする	129	21.0%
地域全体で住民相互の関わりを深める取り組みを行う	143	23.3%
保育園・幼稚園・こども園、学校、医療機関などによる早期発見を徹底する	294	47.8%
「虐待の疑いがあれば通報する」という意識を持つ	200	32.5%
虐待防止の啓発活動を積極的に行う	63	10.2%
その他	25	4.1%



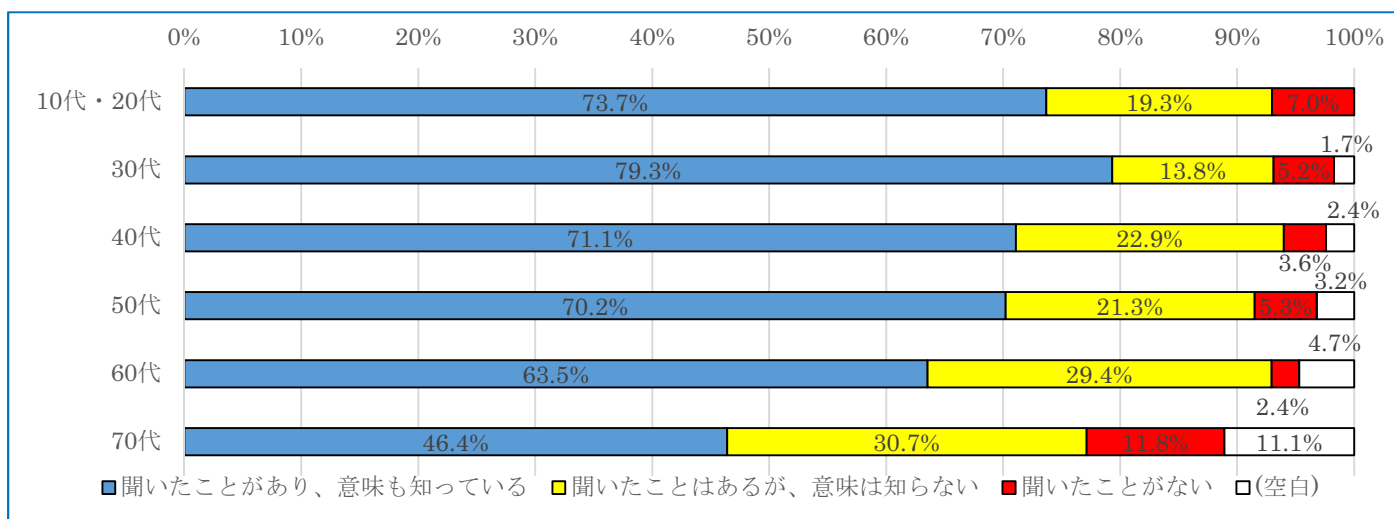
- 前回調査と同じ傾向となっており、「児童相談所や配偶者暴力相談支援センターなどの関係機関による迅速な介入や家庭訪問を増やす」「児童相談所や配偶者暴力相談支援センター、警察、行政など関係機関の連携を強化する」「保育園・幼稚園・こども園、学校、医療機関などによる早期発見を徹底する」が多くなっています。

**設問 9** LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）、性的マイノリティ（同性が好きな人や、自分の性に違和感を覚える人、性同一性障害の人など）に関することについてうかがいます。近年、多様な性への無理解が社会的に課題となっており、多様な性への理解と配慮が求められております。「LGBT」「性的マイノリティ」という用語について、あてはまるものをお選びください。（1つ選択）

選択肢	回答数	割合
聞いたことがあります、意味も知っている	392	63.7%
聞いたことはあるが、意味は知らない	155	25.2%
聞いたことがない	37	6.0%
無回答	31	5.0%
総計	615	100%



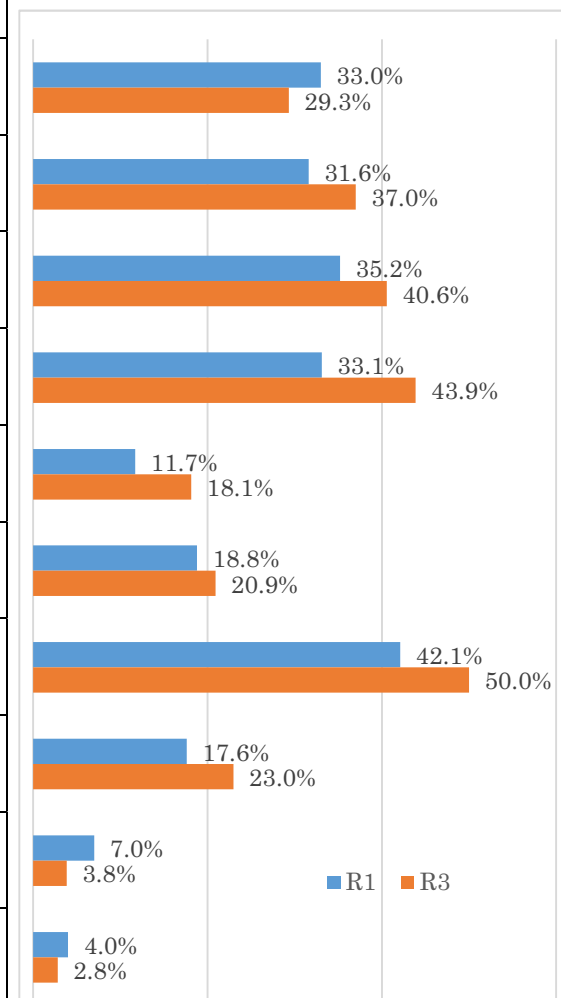
○ 年代による比較



- 「聞いたことがあります、意味も知っている」の割合が63.7%であり、前回調査61.3%から微増となっています。
- 年代別では、年代が高くなるとともに、「聞いたことがあります、意味も知っている」の割合が減少しています。

**設問 10** 設問 9 で「1. 聞いたことがあり、意味も知っている」と答えた方にお聞きします。今後、多様な性への理解を進めるために何が重要だと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

選択肢	回答数	割合
パートナーを証明する制度の整備	115	29.3%
差別を禁止する条例などの制定	145	37.0%
更衣室やトイレ、制服など男女で区別されていることに配慮した社会環境の改善	159	40.6%
性同一性障害などの性別違和の方に配慮した申請書類等の性別記載欄の見直し	172	43.9%
市民や企業などへの広報・啓発	71	18.1%
行政職員や教職員に対する研修の充実	82	20.9%
学校などでの教育の充実	196	50.0%
相談窓口の設置	90	23.0%
特に必要ない	15	3.8%
その他	11	2.8%



- 前回調査と同じ傾向となっており、「学校などでの教育の充実」が最も多く、次いで「性同一性障害などの性別違和の方に配慮した申請書類等の性別記載欄の見直し」「更衣室やトイレ、制服など男女で区別されていることに配慮した社会環境の改善」が続いています。
- 一人当たりの平均回答数（最大3つ）は、前回の2.3個から2.7個に増加しています。